

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様に信頼される行政サービスを提供するため、情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組みます。

総務課 設定者 総務課長 富岡 啓二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
来庁者の利便性や満足度の向上につながる庁舎の改善を毎年度実施する。	来庁者や職員の安全性や利便性を確保するための庁舎改修事業	庁舎の維持管理に関し、適切な改修及び維持補修方法を選択することで、予算の効率的な執行及び費用の平準化を図る。 また、市民サービスや省エネに関する庁舎機能を向上させる。	令和2年度に策定した庁舎保全計画に基づき、安定的な庁舎運営を行うために必要な緊急性の高い設備等の改修を行う。 また、改修に際して省エネ化や利便性の向上が可能であるか検討を行う。	庁舎保全計画に基づき、非常用発電機の改修や空調機の部分改修などを行って、庁舎設備の健全度の向上を図った。 また、次年度実施予定の庁舎照明制御装置更新工事の設計において、照明スイッチ類の効率的な配置を検討し、利便性の向上を図ることとした。
行政手続の適正化と透明化を図るため、国の個人情報保護法の改正に伴い、個人情報保護条例等の見直しを行い、併せて文書管理の適正化を推進する。	令和5年4月からの個人情報保護法の改正に向けた、個人情報保護条例等の改正及び条例改正に伴う個人情報の取扱いに関する研修の実施並びに文書管理の改善業務	法律の改正内容を的確に把握して条例等の改正を行うとともに、個人情報の取扱いに関する研修を実施することにより、個人情報の取扱いが適正に行われている。 市の公文書の管理が、ルールに従い適正に行われている。	個人情報保護条例等の改正を令和4年12月までに行い、その後、条例改正に伴うマニュアルの改訂を行うとともに、個人情報の取扱いに関する研修を、令和5年3月までに実施する。 また、公文書の適正管理を推進するため、文書管理の巡回点検・指導を実施する。	個人情報保護法の改正に伴う本市の個人情報保護条例の改正を令和4年12月に行い公布した。併せて、条例改正に伴うマニュアルの見直しや個人情報の取扱いに関する職員研修を実施して制度の周知を図った。 また、文書管理の巡回点検を54の部署において実施し、点検結果に基づく指導を行った。 文書管理の巡回点検については、令和5年度も別の部署において実施する予定である。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様に信頼される行政サービスを提供するため、情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組めます。

秘書課 設定者 秘書課長 村上 武史

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市長・副市長が円滑に政策判断・市政運営を行うことができるよう各種環境を整える。	スケジュールの管理(過密化の軽減)及び情報共有	優先度及び重要度を踏まえたスケジュールの調整により、重要案件にかかる協議時間を確保する。	市長・副市長の意向を随時確認し、関係部署との調整や政策判断に必要とする情報の収集・把握に努める。	状況に応じたスケジュール調整により、関係部署等との協議時間を確保するとともに、事前・事後の情報の収集・把握・提供に努めた。また、健康管理にも配慮したスケジュール設定により、公務の円滑な遂行につなげることができた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様に信頼される行政サービスを提供するため、情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組めます。

広報戦略課 設定者 広報戦略課長 宮井 まゆみ

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
シティプロモーションの取組を戦略的に推進する。	本市の魅力を市内及び本市周辺の子育て世代にPRする事業	認知度や魅力度を向上させ、交流人口及び移住・定住人口の増加を図る。	・SNSやテレビなどの媒体を活用し、本市の魅力を効果的に発信する。 ・イベント等でのシティプロモーションの実施	空港で「ちかくに いわくに」マルシェを開催し、のべ2,500名を超える来場者があった。街づくり岩国とも連携し、JR車両での市のPR広告の掲示も行った。
市のホームページの年間アクセス数を増加させる。	市ホームページ充実事業	市ホームページ全体の年間アクセス件数を5,000,000件以上にする。	市ホームページのトップページを中心に内容を充実させる。	ホームページは年600万件を超えるアクセスがあった。引き続き、内容を充実させ、アクセスしやすいページを目指していきたい。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様に信頼される行政サービスを提供するため、情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組みます。

職員課 設定者 職員課長 活田 浩久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
将来にわたって安定的に行政サービスを提供できる組織を構築する。	複雑多様化する行政課題に的確に対応するため、組織体制の最適化を図る。	第3次岩国市総合計画のスタートに向け新たな組織体制を編成する。	①組織改編に向けた課題の洗い出し ②関係部署との検討・協議 ③関連する例規の整備	第3次岩国市総合計画に掲げる主要施策の着実な推進を図るとともに、複雑多様化する行政課題や行政ニーズに対して、より効率的かつ効果的に対応できる体制を整備するため、令和5年度に向けて組織・機構の見直しを行った。
一人ひとりの職員が持つ能力を最大限に発揮し、組織力の向上を図る。	「岩国市人材育成基本方針」に掲げる「めざす職員像」の実現に向け、「人材の確保」・「職員の能力開発」・「人材マネジメント」を総合的に推進する。	・優れた能力や資質を有する職員の確保 ・「岩国市職員研修計画」の着実な実施 ・OJTや人事評価を活用した職員の育成	①職員採用に関する取組の強化(情報発信・インターンシップの受け入れ等) ②新規採用職員の育成強化 ③自己啓発・職場研修・職場外研修等の計画的な実施 ④組織目標の達成に向けた人事評価の効果的な活用	本市の求める職員像や職員の年齢構成等も考慮しながら、受験希望者がより受験しやすくなるよう、令和5年度に向けて受験資格要件の拡大や多様な採用方法等の見直しを行った。 研修計画の着実な実施やOJT・人事評価を効果的に活用することで人材マネジメントの強化を図った。
	すべての職員が活躍し能力を発揮できるような職場環境を整備する。	・働き方改革の推進 ・定年の引上げを見据えた計画的な人事管理の推進	①ワーク・ライフ・バランスの推進 ②高齢期職員の活躍推進に向けた制度設計	定年の引上げに伴い、役職定年制や定年前再任用短時間勤務制に加え、高齢者部分休業制度を導入するなど、高齢期職員が活躍しやすい環境整備を行った。
質の高い行政サービスを提供する。	効果的・効率的な行政経営を推進する。	・給与等の適正化 ・業務の効率化や業務改善の推進	①適切な定員管理の推進 ②国・県・近隣市との均衡を考慮した給与等の見直し ③研修を業務にフィードバックする取組の強化 ④DXを活用した業務改善	定年の引上げ期間中においても、中長期的な視点に立って、新規採用職員を安定的に確保していくため、新たな定員管理計画を策定した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様に信頼される行政サービスを提供するため、情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組みます。

人権課 設定者 人権課長 岡原 隆光

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
人権教育・啓発の推進	人権研修、イベント等の開催	職場、地域、学校等における人権啓発リーダーの育成を目的として、市民、企業の従業員等を対象とした講義形式、参加取組形式の研修会を開催し、研修内容の満足度80%以上を目標とする。(R3年度71%)	人権教育・啓発指導者養成講座(7月)、指導者研修会(8月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育・啓発指導者養成講座は多様性など幅広い人権課題テーマに開催し、講座参加者の研修内容の満足度は80%と目標を達成した。</li> <li>・指導者研修会についてはコロナ感染状況悪化に伴い中止とした。</li> <li>・じんけんフェスタを開催し、多くの市民の参加のもと、ハンセン病を通じたコロナ差別についての啓発を実施した。</li> </ul>
情報提供の多角化	岩国市女性活躍推進計画の推進	岩国市内におけるワークライフバランスに取組む事業者数の登録数を現在の96社から100社にする。	市内事業者に募集を行い、応募のあった事業所にアドバイザーを派遣し、ワークライフバランスに関する施策導入のアドバイスと社員向けの研修会を開催する。市民向けの講座については、SNSを活用して情報発信を行い、積極的な募集を募る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者にアドバイザーを派遣し、岩国市内におけるワークライフバランスに取組む事業者数の登録数は96社から103社へ増加し、目標を達成した。</li> <li>・ワークライフバランス啓発に向けた事業者および市民向けの講座を実施し、SNSを活用して広く募集を行った。</li> </ul>
情報提供の多角化	岩国市DV対策基本計画の推進	配偶者からの暴力に関する相談窓口の周知を図る。	街頭でのリーフレット配布に加え、SNSやホームページを活用し相談窓口の周知を図る。また、アイキャン「かけはし」でも、相談窓口の周知を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV防止の学習機会として中学生を対象としたデートDVの講座を実施し、各中学校に啓発リーフレットを配布した。</li> <li>・SNSやホームページ等あらゆる機会を通じてDV相談窓口の周知を行った。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様に信頼される行政サービスを提供するため、情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組めます。

契約監理課 設定者 契約監理課長 藤澤 政博

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
公平、公正で適正な入札・契約事務の執行	公平、公正な入札制度	入札の透明性及び効率化の向上	電子入札の推進、入札制度の構築及び関係機関等との連携	建設工事及び建設工事に係る業務委託については、入札制度を構築し、電子入札を開始し、入札の透明性及び効率化の向上に努めた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様信頼される行政サービスを提供するため、情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組みます。

用地管財課 設定者 用地管財課長 廣田 雅之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市有財産の未利用等を把握し、利活用や処分に努め、適正な財産管理を行う。	市有財産の未利用等を把握し、利活用に努め、売却可能な場合は処分を行い、財産収入を得る。	公有財産管理システムの運用等により、市有財産を有効活用している。	①公有財産管理システムによる市有財産の管理・集計を実施(通年) ②市有財産の利活用や処分について財産所管課と連携し、情報の共有を実施(通年) ③ホームページ等へ市有地の貸付情報を掲載し、市民等へ周知することにより、未利用市有財産の利活用を図る。 ④売却可能な財産は処分を行い、財産収入を得る(通年)。	①年間を通じて市有財産の取得・処分・貸付の状況を把握し、決算時等に適切に集計を行った。 ②市有財産の利活用や処分について、財産所管課からの問い合わせに対応し、売り払いに向けての助言を行った。 ③年間を通じて未利用財産の貸し付けを行うとともに、全庁的に未利用財産の利活用について周知を行った。 ④一般競争入札を実施し、2件で計898.50㎡の土地を13,700,000円で売却した。また、随意契約により2件で計187.86㎡の土地を1,177,883円で売却し、他課からの依頼による法定外公共物の売り払い9件を行った。
事業担当課と連携し、用地取得を円滑に行う。	①担当者の知識蓄積とスキル向上(自己学習・職場研修・職場外研修の実施) ②事業計画の事業担当課との連携・情報共有	①関係する権利者に対し、法令を遵守し、ニーズを適切に捉え不安を解消するよう丁寧な説明を行う。 ②事業担当課と役割分担のもとスムーズに用地を取得する。 ③不動産評価委員会で適正な価格の評価を行う。	①国土交通省、山口県、民間が開催する研修会への参加(随時)や説明資料の作成 ②事業担当課ヒアリングを実施(5月) ③不動産の取得、処分、交換等について適正な価格の評価を行うため不動産評価委員会を開催(毎月)	①不動産評価委員会において用地取得に係る14議案を提案し、価格の承認を受けた。 ②各事業担当課から依頼を受けた12件の用地取得を円滑に行った。
市内全域の地図情報を一元管理し、市民等のニーズに沿った情報を効率的に提供する。	①地図情報システムの運用 ②提供する地図情報の説明 ③地籍調査関連の資料の管理	①地図情報の更新作業を行うことで、常に新しい地図情報を保持する。 ②提供する地図情報の実効性について正しく伝える。 ③経年により老朽化した地籍調査関連の紙媒体の情報をデジタル化する。	①地籍調査実施中の錦町のデータ等を取り込むほか、地図情報の更新を行う(通年)。 ②地図情報の実効性について正しく伝えられる方法を検討し、その周知を図る。 ③老朽化した地籍調査関連の紙媒体の情報をスキャナ、デジカメ等を介して取り込む。	①地籍調査の結果、新たに国からの認証を受けた錦町宇佐郷地区の一部(約300筆)の地籍図データを地図情報システムに取り込み、統合を行った。 ②問い合わせに際して、提供する地図情報の実効性を確実に伝えた。 ③老朽化した地籍調査関連の紙資料のうち旧岩国市資料約200冊をスキャナで取り込んだ。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部

総務部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総務部長 石橋 誠

市民の皆様信頼される行政サービスを提供するため、情報発信、人権教育、人材育成、業務改善に取り組みます。

情報統計課 設定者 情報統計課長 西本 博之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
個人情報の保護を大前提に、基幹統計に係る事務・手続を正確に行う。	就業構造基本調査実施	調査期限内に調査票を回収し、正確に調査票が記入されていることを迅速に調査した上で集計を行い、提出期限内に総務省に提出する。連絡メモを活用して粘り強い調査票回収に努め、回答率向上を目指す。	安全面に最大限の注意を払い調査員・指導員に指導を行うとともに、対象者からの問合せに適切に対応できるよう調査内容を正確に把握する。調査実施前に調査対象世帯に事前依頼はがきで案内することにより、調査を円滑に進める。	回答率向上のため、市からは調査実施に当たり事前依頼はがき発送を行い、調査員については連絡メモの活用による調査対象者への回答要請に努め、調査を円滑に進めた。また、個人情報保護の理解や調査票誤配付防止について、調査員への指導を徹底した。結果、回収した調査票は、提出期限内に県経由で国に提出した。今回、ネット回答率は18.9%で、前回調査時10.2%に対し8.7ポイント上回った。
経常的なコスト削減のほか、職員に負担のかからない効率的で実用的なシステムを構築する。	情報システムの標準化共通化をはじめ、情報システムの最適化に向けた検討	実用的なシステムが提供されることにより、職員の負担が軽減されるとともにコストが削減される。	情報システムの最適化としては、現行環境の整理を行い「クラウドへの移行」「LGWANからインターネットへのベースシフト」の検討を行う。情報システムの標準化共通化としては、「現行システムと標準仕様との比較分析」「移行計画の作成」に取り組み、標準化を進める。	今年度は、「基幹系システム移行計画」「情報システム最適化計画」を策定した。今後については、「情報システムの標準化」「クラウド移行・LGWANからインターネットへのベースシフト」を引き続き推進していく。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総務部(危機管理担当)

総務部(危機管理担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 危機管理監 榎原 裕司

「逃げ遅れゼロ」の実現に向けた取組を推進します。

危機管理課 設定者 危機管理課長 志賀 浩明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
事前に予見できる災害については、発生前に早めの避難を促す。	災害発生の予測	気象情報を収集し、より簡便な方法で災害発生を予測することにより、避難情報を迅速に発令する。	地域の地質や植生等を調査することにより、雨量指標R'の精度向上と運用面の改善を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響のため、地質や植生等の調査による雨量指標R'の精度向上はできなかった。しかし、民間事業者の異常気象システムの実証実験に協力することなどにより、雨量計を13か所設置できたことから、今後、雨量指標R'の精度向上が見込まれる。
災害の種別ごとに発生前、発生直後、発生後の局面に応じた対応を行う。	災害対応力の向上	災害対策本部と総合支所、避難所、消防・警察・県土木事務所などの関係機関と情報共有を行い、組織的に災害対応が行える体制を構築する。	市と消防団や消防、自主防災組織とが連携して、河川氾濫や土砂災害を想定した訓練を実施する。	新型コロナウイルス感染症の影響により、市が主催する洪水や土砂災害を想定した訓練を実施することはできなかったが、消防や警察などの他機関が実施する訓練に参加するなど、関係機関との連携を図った。
	自主防災組織の育成・強化	自主防災組織や消防団による避難支援が行われ、住民が助け合って避難する。	自主防災組織を対象とする研修を行うなどして、避難情報・防災情報の収集方法や防災に関する市の考え方等の理解を図る。	令和4年11月に自主防災組織を対象とした「地域防災リーダー養成研修」を開催し、市の防災に関する考え方等を説明した。
大災害発生後における中長期避難所を安定的に運営する。	避難所の運営体制の検討	避難生活を送るための生活環境が整備されている。	運営に当たっての全体的な課題を整理し、自主防災組織による運営について検討するとともに、必要な非常食や資機材等を引き続き整備する。	避難所の自主運営に前向きな自主防災組織と協議を始めるとともに、避難所において使用するアルミマットや非常食等を整備した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

政策企画課 設定者 政策企画課長 賀屋 和夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
総合計画の将来像の実現に向け、効果的な施策を計画的に推進する。	本市のまちづくりの指針となる「第3次総合計画」を令和4年度末までに策定する。	基本構想に基づき、施策の体系を具体化するとともに、具体的な取組内容や数値目標等を定めた前期基本計画を策定する。	各課からの施策をとりまとめ、基本計画の体系を構築しながら、達成度を測るための適切な数値目標等を設定する。また、個別計画や総合戦略等との関連性を分かりやすく整理する。	施策の大綱に基づき、具体的な施策を体系化するとともに、数値目標により進捗管理を図る計画として令和5年3月末に策定した。
	明確な基準に基づいた「まちづくり実施計画」を策定する。	総合計画や総合戦略における目標の達成に資する取組について、実施計画に重点的に反映させる。	総合計画や総合戦略における位置付け及び事業の優先度・緊急度を明確にし、財政フレームの投資一般財源の範囲内で事業を選択する。	総合計画の基本目標に基づき、優先順位の高い投資政策的事業を採択した「まちづくり実施計画」を策定し、令和5年2月に公表した。
総合計画及び総合戦略に掲げる目標を達成するため、進行管理を厳格に行う。	総合計画や総合戦略における各種取組に対する進捗を検証し、その状況を公表する。	総合計画における「達成度を測る指標」や総合戦略における「数値目標」「KPI」等の前年度の達成状況を照会し、取組の進捗を検証するとともに、市民にその状況をわかりやすく公表する。	指標・数値目標・KPIの実績や進行状況等を取りまとめ、内容を検証する。検証結果を各課にフィードバックするとともに、HP等で進捗を公表する。	総合戦略における令和3年度の達成度を測る指標等を検証し、その結果を公表した。
大規模事業等について、県や国による事業化を実現することで、まちづくりを一体的に進める。	各課の要望を取りまとめ、山口県予算及び自民党要望を行う。	市では実施が困難な大規模事業等について、役割分担のもと、適切な要望活動を行い、県予算や国家予算での事業採択を目指す。	各課からの要望を取りまとめて要望書を作成し、県等に要望活動を行う。要望に対する県等の対応方針を確認し、各課に情報提供する。	各課からの要望を取りまとめ、重点要望項目等を整理し、県予算及び自民党要望を行った。
広域行政を推進し、圏域全体の発展を図る。	広島広域都市圏で行う取組を積極的に活用し、本市の情報を積極的に発信する。	圏域西部地域の中核的な役割を果たすことで、広島広域都市圏全体の発展と本市の活性化を目指す。	庁内関係課や庁外関係団体に対し、イベント等を周知して参加を促すとともに、事業実施の際には連携・調整を図る。また、市民に広く情報発信を行い、圏域内の交流を促し、持続的な発展につなげていく。	広島広域都市圏における取組について庁内外に周知するとともに、職員の人事交流による共同研修を実施した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

行政経営改革課 設定者 行政経営改革課長 宮井 克典

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
公共施設の質と量の最適化に向け、計画的に取り組む。	公共施設の質と量の最適化を目指し、計画性を持って着実に実行する。	・人口減少に伴う施設の利用実態に応じ、施設の量が最適である。 ・多様化する市民ニーズの把握・分析や計画的保全・健全な管理運営の実施により、施設の質が最適である。	・施設の老朽化、必要性、有効性、効率性などの観点から、個別施設を総合評価し、建替え、譲渡、廃止など、今後の方向性を検討するため、個別施設実施計画を策定する。 ・建築基準法による法定点検を実施する。 ・施設管理者による日常点検等の実施により施設の安全確保に取り組む。	・予定通り個別施設計画を策定した。 ・建築基準法に基づく法定点検の実施に向け、施設所管課との調整を行った。 ・日常点検の実施について、令和元年度策定の手引に沿って、施設所管課への周知を図った。
行政サービスや事務事業のデジタル化に取り組む。	行政サービスや事務事業のデジタル化を計画性を持って取り組む。	複雑、多様化する市民ニーズに的確かつ迅速に対応し、質の高い行政サービスを効果的、効率的に提供するため、デジタルトランスフォーメーション(DX)によるICTの積極的な活用が図られている。	・RPAなど事務処理のデジタル化を推進し、職員の時間、労力、費用などを削減するための支援を行う。 ・電子申請やキャッシュレス決済など市民手続きのデジタル化等を推進するための支援を行う。	・RPAによる事務のデジタル化は、17の業務で運用することができた。 ・キャッシュレスは、スポーツ施設における使用料への導入を実現し、電子申請はイベントなどの申し込みに活用し210の手続きでの活用が図れた。
行政経営改革プランの行動計画をPDCAサイクルに基づき計画的に実施する。	行政経営改革プランの行動計画における年度計画を着実に実行する。	令和4年度の達成状況の把握、成果の検証において、的確な評価ができています。	・行動計画の取組に係る主担当部署への働きかけ、援助、進捗管理を行う。 ・民間委託業務の研究を行い、庁内での検討を進める。 ・市民満足度調査結果の施策への反映を促す。	・行動計画の取組に係る進捗管理を行うとともに、適宜働きかけ等を行った。 ・市内進出企業と調整を行いながら、市の窓口業務の一部を民間事業者が取り扱う実証実験を行った。 ・市民満足度調査を実施し、調査結果を公表するとともに各担当課と情報の共有を図った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

地域交通課 設定者 地域交通課長 中田 誠

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
高齢化と人口減少に対応できる持続可能なサービス体系の再構築	地域内支線の見直し	新たな移動手段の実施・検討や路線の見直しを行い持続可能な公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗合タクシー本格・実証運行</li> <li>生活交通バスの路線再編支援</li> <li>地域公共交通計画への反映、策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>8月に1地区で実証運行、10月から2地区で本格運行開始</li> <li>玖北地域での路線再編を協議・支援</li> <li>計画の反映、策定完了</li> </ul>
誰もが安心して利用できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー化の推進</li> <li>路線バスへのICカードの導入</li> </ul>	安心・安全、利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両のバリアフリー化</li> <li>いわくにバス車両のICカード「PASPY」を新たなICカードなどに変更・導入する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活交通バス車両へ実施</li> <li>新たなICカード導入に向けた予算措置を実施</li> <li>計画の反映、策定完了</li> </ul>
公共交通を守り育てる意識の醸成	モビリティマネジメント実施	公共交通を利用していない人などへの、利用を促す取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の乗り方教室の実施</li> <li>利用の動機付けパンフレットなどの配布</li> <li>地域公共交通計画への反映、策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生向けの鉄道・バスの乗り方教室を実施</li> <li>中高生、転入者に向けパンフレットを配布</li> <li>計画の反映、策定完了</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

財政課 設定者 財政課長 桂 健治

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
持続可能な行政経営を行うため、一般財源の状況を把握した上で、その確保に努める。	一般財源の状況を把握し、投資政策的経費に適切に一般財源を配分する。	投資政策的経費に配分する一般財源を確保しながら、持続可能な行政経営が行えている。	見直しを行った財政計画を踏まえ、今後の一般財源の見通しを把握するほか、令和5年度からの財政計画を策定する。今後の一般財源の状況を勘案しながら、投資政策的経費に一般財源を配分する。	・令和4年11月に「岩国市財政計画」を策定し、今後の一般財源の見通しを把握した。 ・令和5年度当初予算における投資政策的経費の一般財源は、同計画の目標値には及ばなかった。
市債については、将来負担の軽減を図るため、発行の抑制に努めるとともに、発行する場合には、財政的に有利な普通交付税算入率の高いものの活用に努める。	市債を発行する場合は、普通交付税算入率の高いものを活用する。	市債を発行する場合には、普通交付税算入率の高いものの活用を努めることにより、一般財源の負担を軽減することで、将来に向けて一般財源を確保する。	予算編成時に、財政的に有利な市債が活用できないか十分に検討し、活用可能なものについては、市債を充当する。	令和4年度の補正予算や令和5年度当初予算において、普通交付税への算入率が高い合併特例債や過疎債などに加え、緊急防災・減債事業債や緊急自然災害防止対策事業債、緊急浚渫推進事業債など、財政的に有利な市債の活用を図った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

課税課 設定者 課税課長 松井 美穂

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
課税客体の適正な把握に努め課税誤りのない状態を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互チェック体制の確立</li> <li>研修会等への積極的な参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験年数に関わらず適正な課税が遂行できる。</li> <li>課税誤りをなくす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会参加への勧奨</li> <li>班内研修の実施</li> <li>指導の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会にはwebを含め積極的に参加している。</li> <li>相互チェック体制の確立についてより良い方法がないか今後も検討することは必要。</li> </ul>
税制改正を適正に賦課に反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>課内における税制改正の周知</li> <li>班内研修、ミーティングの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税制改正について賦課内容が理解できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考図書等の供覧により知識を増やす。</li> <li>月1回班内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>税制改正事項や参考図書を供覧することにより周知を図っている。</li> <li>班内研修、ミーティングについては随時実施している。</li> </ul>
納税者に対して賦課内容を分かりやすく説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務マニュアルの充実およびアップデートの実施</li> <li>賦課に対する情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の知識等のレベルアップが図られている。</li> <li>問い合わせに対して適正な回答ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去のノウハウを活かしマニュアルについては随時アップデートを実施する。</li> <li>困難な案件について課内での情報共有を課内会議時に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのマニュアルについては随時アップデートすることができ、必要時には新規に作成することにより充実が図れた。</li> <li>賦課における問題案件等はリスト化を実施し、情報共有を図っている。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部

総合政策部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 総合政策部長 國廣 光秋

将来負担の軽減を図りつつ、自主財源の確保に努めることで持続可能な行政経営を実現し、総合計画に沿ったまちづくりを着実に進めると同時に、質の高い行政サービスを提供することで市民満足度の向上を目指します。

収税課 設定者 収税課長 山田 博之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安定的な財源の確保	市税収納率の向上	市税全体の収納率、概ね97%、滞納繰越し市税収納率、概ね30%程度を目指す。	納税者の現状を踏まえた納税相談、適切な調査を行い、効率的な納付につながる指導を行う。 滞納処分、滞納処分の執行停止を効率的に行い滞納の減少に努める。	滞納者に対する早期の財産調査を実施。その結果に基づいて滞納者と折衝を行うことができ、効率的な滞納処分が可能となった。
	現年度市税未収金の削減	現年度市税収納率、概ね99%程度を目指す。	新たな滞納を生じさせないため、現年度分の年度内納付への取組強化を図る。	現年度分未納者に対する催告を強化するための体制を整えた。
未収金対策の強化	納付手段の充実	納付方法を充実させ、利便性を向上させる。	口座振替の勧奨を推進。 キャッシュレス納付等、新たな納付方法の導入について検討。	滞納者との折衝時、文書による催告時など、口座振替勧奨の機会を増やし、eLTAXによる納付方法の拡大に併せて、納付可能な税目を追加した。
徴収の公平性の確保	職員の業務能力向上	納税者の現状を適切に把握し、納税意欲の向上に向けた丁寧な説明、対応を行うとともに、適切な滞納整理による公平性の確保を図る。	各種研修の受講による個人の収納技術、折衝能力の向上、関係機関との連携による組織的な収納体制の強化を行う。	各種研修に積極的に参加するとともに、国、県など関係部署とも連携して滞納整理に努めた。
	円滑な業務遂行	課内の業務を見直し、円滑に業務が遂行できる。	業務内容を見直し、担当者の負担を軽減する。 収納班、滞納整理室の業務分担、連携方法を検討する。	収納体制を見直し、効率的な滞納整理ができる体制を検討するとともに、課全体の業務を見直し、担当者の負担軽減を図った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

総合政策部(基地政策担当)

総合政策部(基地政策担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 基地政策担当部長 穴水辰雄

岩国基地との共存を基本スタンスとして、安心・安全対策に取り組みます。

基地政策課 設定者 基地政策課長 石本 英二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安心・安全対策の推進	安心・安全対策(43項目)の要望のうち、未達成項目の進展。	未達成項目の実現あるいは実現に向けた協議が進展している。	(未達成の主なもの) ①基地外居住者の居所の明確化 ②日米地位協定の見直し ③住宅防音工事の補助対象施設の事務所・店舗等への拡大	①、②は、機会あるごとに要望を行っているが具体的に進展なし。 ③については、令和3年度に実施した実態調査結果に基づき国が検討中、引き続き、制度化を要望。 ※未達成項目の中には、岩国市だけでなく全国的な課題もあり、中長期的な粘り強い取組が必要。
航空機騒音の軽減や事故防止	(1)岩国基地への申入れ ①飛行規則の遵守や飛行運用の配慮に関する要請 ②航空機事故等に係る要請 (2)航空機騒音の測定・集計・分析、空母艦載機移駐後の実態把握 (3)岩国日米協議会の「確認事項」の見直しに関する協議の継続	(1)岩国基地への申入れの減少 ①飛行規則が遵守され、飛行運用における市民生活への一定の配慮がなされている。 ②航空機事故等が発生していない。 (2)測定データが騒音対策に有効に活用され、騒音の状況が市民へ適切に情報提供されている。 (3)「確認事項」の見直しが日米双方の合意のもと、まとまる。	(1)飛行規則の違反、航空機事故等の発生及び市民からの騒音苦情が多かった場合、岩国基地への申入れを行う。 (2)市が設置する騒音測定器による計測(市内5ヶ所・24時間体制)、基地情報提供協力員及び基地政策嘱託員からの情報により、適切な情報整理・分析を行う。 (3)国・米軍と「確認事項」の見直しについて、継続して協議を行う。	(1)市が設置する騒音測定器、情報提供協力員及び嘱託員による情報を整理・分析し、HP等により適切に情報提供を行った。 (2)上記の分析等に基づき、必要に応じて飛行規則の遵守(時間外運用等)や飛行運用の配慮(騒音苦情件数の増加、盆・正月等の飛行自粛)に関する要請や申入れを行ったが、航空機騒音軽減の申入れの件数は前年度より減少し、また、大きな航空機事故も発生していない。 (3)岩国日米協議会の「確認事項」の見直し協議自体に進展はなかったが、基地に関する問題が生じた場合は、基地側と協議の場を持つなど、早期解決が図られるよう努めた。
米軍構成員等による事件・事故の減少	(1)事件・事故防止のための米軍構成員等に向けた予防対策の実施。 (2)事件・事故等に対する申入れ。	事件・事故が発生していない。	(1)事件・事故を防止するため、米軍構成員等に向けた取組を行う。 ①セーフティブリーフィング(米軍隊員教育の場) ②安心・安全共同パトロール ③状況に即した安心・安全啓発事業 (2)事件・事故等に対する再発防止等の申入れ。	(1)事件・事故を防止するため以下の取組を行った。 ①セーフティブリーフィング(本年度はビデオメッセージ作成)の実施 ②10月に防犯啓発を目的に「防犯パトロール出発式」をくらし安心安全課と連携し実施 ③12月に安心・安全共同パトロールを実施 (2)事件・事故等が発生した際に、再発防止等の申入れを迅速かつ適切に行った。
防衛関係補助金・交付金の適正かつ円滑な運用	防衛関係補助金・交付金及び新しい交付金「米空母艦載機部隊配備特別交付金」の適正かつ円滑な運用を図るための連絡調整。	防衛関係補助金・交付金及び新しい交付金「米空母艦載機部隊配備特別交付金」が適正かつ円滑に運用されている。	(1)事業実施関係部署の相談窓口となり、連絡調整を行う。 (2)新しい交付金「米空母艦載機部隊配備特別交付金」の理解を深め、円滑な運用のための連絡調整を行う。	防衛関係補助金・交付金の運用に関し、国との窓口として、事業実施関係部署との円滑な連絡調整及び会計検査の対応を適切に行った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民生活部

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小玉 陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

市民協働推進課 設定者 市民協働推進課長 岡田 司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民一人ひとりが地域社会の一員であることを自覚し、住み良い岩国市(まち)にしていくための協働のまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティの強化</li> <li>多様な主体との連携・協働の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の自治及び協働の意識醸成と促進</li> <li>市民活動の場づくりの支援</li> <li>市民活動の拡充・リーダー等の人材育成及び活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会報償金、一般コミュニティ助成事業、地域資源活性化事業(地域づくりワークショップ等)の実施</li> <li>地域ささえ愛交付金の活用促進</li> <li>市民対象協働講演会や協働推進員対象研修会の開催</li> <li>地域協働拠点としての出張所、供用会館等のあり方や方向性等(公共施設等総合管理計画や個別施設実施計画との関連)の検討</li> <li>川下供用会館駐車場整備事業</li> <li>御庄地区地域づくり拠点施設整備事業</li> <li>横山地区集会所改修事業</li> <li>みんなの夢をはぐくむ交付金の活用促進</li> <li>市民活動団体、市民活動パートナー制度の登録推進</li> <li>市民活動人材育成事業補助金の活用促進</li> <li>市民活動支援センターの機能充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会加入率:71.72%</li> <li>地域づくりワークショップ(5地区、9回開催)</li> <li>一般コミュニティ助成事業:1事業</li> <li>地域資源活性化事業(8地域):87事業</li> <li>地域ささえ愛交付金(8地域協議会):65事業</li> <li>市民対象協働講演会、研修会(2回開催):参加者延べ44人</li> <li>協働推進員対象研修会:参加者延べ17人</li> <li>地域協働拠点としての出張所、供用会館等の在り方や方向性等を検討</li> <li>川下供用会館駐車場整備事業:実施設計</li> <li>御庄地区地域づくり拠点施設整備事業:ワークショップ開催</li> <li>横山地区集会所改修事業:耐震・地質調査</li> <li>みんなの夢をはぐくむ交付金:15事業</li> <li>市民活動登録団体:100団体</li> <li>市民活動パートナー制度:登録16件、募集18団体</li> <li>地域活性化イベント支援補助金:74事業</li> <li>市民活動支援センターの機能充実</li> <li>市民活動支援センター利用者数:延べ2,119人</li> <li>さぼーと講座(4回)延べ70人</li> <li>出前講座(1回)12人</li> <li>登録団体交流会(3回)延べ68団体</li> <li>市民活動カフェ:参加26団体、来場者850人</li> <li>パネル展:市役所1階展示コーナー</li> </ul>
市民に信頼される親しみやすい出張所を目指す。	迅速・丁寧・親切な窓口サービスを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近で親しみやすい出張所となるよう接遇の向上に努める。</li> <li>ミスなく円滑に事務処理ができるよう業務の改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な所内職員ミーティングの実施。</li> <li>問題が発生した場合、情報・課題を出張所内及び各出張所間で共有する。</li> <li>本庁関係課との連携を密にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民に最も身近な行政サービスを提供する窓口として、親切かつ丁寧な接遇に努めた。</li> <li>各出張所間における情報共有や本庁関係課との連携を図るため、毎月所長会議を開催するなど、窓口サービスの維持・向上に努めた。</li> <li>出張所取扱件数:61,276件</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民生活部

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小玉陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

くらし安心安全課 設定者 くらし安心安全課長 綿重 典子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
犯罪が起きにくい環境づくりを進め、安心して暮らすことができる地域社会の形成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラの管理運用</li> <li>防犯灯に係る助成及び整備</li> <li>犯罪被害者支援事業</li> </ul>	防犯設備の整備や運用により、犯罪や事故等の防止や早期解決につなげるとともに、犯罪被害者等の相談対応を行い、誰もが安心して暮らすことができる地域社会となる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>刑法犯認知件数の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯カメラ175台の適正運用</li> <li>自治会等へ防犯灯設置費、LED化費用の一部補助及び、防犯灯電気料金の全額助成</li> <li>基地周辺における防犯灯のLED化改修工事</li> </ul>	岩国警察署との連携等により防犯カメラの適正運用を行い、防犯灯関連業務の実施により、犯罪が起きにくい環境づくりを推進した。令和4年における刑法犯認知件数は391件と昨年と比較して67件減少した。犯罪被害者等支援条例を制定したので4月1日より施行する。
第11次岩国市交通安全計画に基づいた交通安全対策を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全運動等の啓発活動</li> <li>交通安全教室の開催</li> <li>交通安全のまちづくり事業</li> </ul>	交通安全思想の普及徹底を行い、交通事故の防止を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故数、死者数の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関、関係団体、企業と連携して、交通安全指導や啓発活動を実施</li> <li>子供、高齢者、米軍関係者を対象にした交通安全教室の開催</li> <li>交通安全スローガンに基づいた交通安全事業実施計画の策定</li> </ul>	関係機関等と連携して、交通安全運動や交通安全教室の実施等により啓発活動を効果的に展開した。交通死亡事故についてはゼロを達成し、交通事故数は205件で昨年と比較して6件減少した。
消費者の安心・安全を確保するために、啓発活動や相談窓口の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関・団体と連携しての啓発活動や様々な媒体を通して情報発信</li> <li>消費生活相談事業</li> <li>消費者見守りネットワーク協議会の開催及び構成組織との連携</li> </ul>	消費者力の向上や消費者被害の防止を図り、市民が豊かな消費生活を送ることができる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>消費生活出前講座受講者数の増加</li> <li>消費者見守りネットワーク協議会の構成組織の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、ケーブルテレビCM等、様々な媒体を通して情報発信を行う。</li> <li>商業施設、金融機関等での啓発活動</li> <li>消費生活川柳の募集</li> <li>消費生活出前講座の実施</li> <li>消費生活相談業務</li> <li>消費者見守りネットワーク協議会の開催</li> </ul>	消費者力の向上や消費者被害防止に向けて、様々な媒体により啓発を行った。特に消費生活出前講座は様々な団体や高校で行い好評を得ており、実施回数は、講座開始以来最も多かった。消費者見守りネットワーク協議会の構成組織は増加しなかったが、引き続き働きかけを行う。
市民の声を聴き、関係部署へつなぎ応えていくことにより、市政への理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市政相談等各種相談事業</li> <li>自治会、団体等からの陳情、要望業務</li> <li>パブリックコメントの実施</li> </ul>	市民の地域生活の問題等についての相談や要望について、迅速に対応することにより、市民の市政への理解を深めるとともに不安感の解消を図る。またパブリックコメントの実施により、市民の市政への積極的で幅広い参加機会を確保する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>市政相談件数の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電話、来庁、郵便、市長ホットラインにより相談、要望を受け、助言や情報提供を行うとともに関係部署と連絡調整を行い対応する。</li> <li>問題解決に向けて、適切な対応を行うために、調整会議を開催する。</li> </ul>	市民からの市政への相談・要望を傾聴し、情報提供や関係部署への迅速な引継ぎを行うことにより、市民の市政への理解を深めるとともに、不安感の解消に努めた。また、パブリックコメントの実施により、市民の市政への参加機会を確保した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>市政相談件数は250件で、昨年と比較して24件増となった。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民生活部

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小玉 陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

中山間地域振興課 設定者 中山間地域振興課長 松尾 佳一

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民活動の促進を図り、住民主体の地域づくりへの支援を行う。	小規模・高齢化集落等への対策の推進	①集落支援員等により過疎や離島等の小規模・高齢化集落の実態把握 ②地域での話し合い活動や当該地域への対策を進めるための基礎情報の集約・整理 ③以上の取組を市民と協働して推進	・地域住民等からの聞き取り調査による地域の実態把握 ・集落の状況を各種の資料等により把握し、地域の基礎情報を整理 ・関係機関からの情報収集による地域課題の把握 ・把握した地域の状況を分析し、課題解決に向けた取組の実施	コロナの状況が徐々に収まりがみられる中で、集落支援員の活動である地域の実態把握なども前年に比べ活発なものとなった。
	地域おこし協力隊員の定住・定着を図り、地域力の維持・強化を推進	①隊員と地域住民との交流による相互理解の進展 ②隊員の地域資源の発掘による地域の魅力の再発見・再認識 ③隊員の起業・定住に向けた取組の進展 ④以上の取組を市民と協働して推進	・隊員の活動の紹介、周知 ・地域住民・団体等との交流機会の創出 ・地域資源の活用による地域づくりに向けた取組の実施 ・地域ニーズに応じた隊員を募集及び拡充	・地域おこし協力隊については、6地域で6名を派遣した。隊員と地域が良好な関係で活動できるようにフォローを行った。 ・また、隊員の募集については、応募される方が少ないので、その対策が今後の課題である。
	中山間地域振興基本計画の策定	①中山間地域振興基本計画を策定し、施策や取組を進めることで安心・安全に暮らし続けられる中山間地域を実現	・関連部署からの聞き取り調査による現計画の評価・検証 ・計画策定 ・パブリックコメントの実施 ・市議会に報告	計画策定にあたり、「策定のための意見を聴く会」を開催することで、多くの方の意見を聴取し、意見を反映した「第2次中山間地域振興基本計画」を作成することができた。
移住・定住の促進	空き家情報登録制度による空き家の有効活用	①移住希望者に対し、空き家情報に加えて、地域の魅力の提供。移住希望者の情報を収集し、IJU(移住)応援団・空き家所有者との円滑なマッチング ②空き家登録件数の増 ③以上の取組を市民と協働して推進	・IJU(移住)応援団に対し、空き家登録状況を説明(6月・1月) ・継続的な空き家調査による空き家の掘り起こし ・登録された空き家情報のホームページでの公開	・空き家バンクによる移住成約件数は、前年を上回る件数となった。 ・また、移住の相談件数においても、明らかに増加傾向にある。
	岩国市の魅力発信の強化	①岩国市の魅力発信による、シビックプライドの醸成 ②首都圏を中心とした、岩国市のPRの強化	・PR冊子を作成し、ホームページへの掲載などによるPR ・ふるさと回帰支援センターなどを活用した、首都圏等での移住セミナーの開催	・PR冊子については、目標通り、南・北河内地区をテーマに完成をし、関係各所に配布をした。 ・セミナーについても、ふるさと回帰支援センターで特色のあるセミナーを開催することができた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民生活部(文化・スポーツ担当)

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 文化・スポーツ担当 部長 竹原直美

職員一人ひとりが創造性を持って、時代の流れを先取りした事業に取り組む組織

文化スポーツ課 設定者 文化スポーツ課長 遠藤 克也

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
文化芸術活動に参加する人や機会を増やす。	文化芸術振興プランに基づき、錦帯橋芸術祭、市美術展覧会、市民文化祭を充実させるとともに、岩国市民文化会館や吉香茶室等の利用促進を図る。	芸術文化に触れる機会を提供する芸術祭、市民の文化芸術活動を発表する場である市美術展覧会や市民文化祭について、前年参加者数等を上回るよう内容の充実や情報提供を図る。	芸術祭は、ストーリー性を持たせ、篝火の演出や見せ方を工夫するとともに、アートイベントも世代を越え気軽に楽しめる内容を検討する。 市美術展覧会は文化協会や高校等への出展依頼を強化するとともに、観覧者の増加に向けて、発信方法の工夫を行う。	芸術祭は、コロナ対策を講じながらコロナ禍前同等規模の内容を開催し、2日間で約6,500人の集客があった。 市美展は、出展者数が昨年度に比べやや減少し、観覧者も台風の影響を受け増加に結び付かなかった。
市民の外国人に対する理解を深め、外国人に選ばれ住んでもらえるまちなにする。	①国際交流事業を促進する。 ②外国人への生活支援を充実する。	①新型コロナウイルスにより交流機会が制限される中、可能な範囲で多くの市民が参加できる企画を実施する。 ②言葉の問題に対応するため、やさしい日本語の習得を目的とした日本語ボランティアや多様化するニーズに対応可能な英語通訳ボランティアを養成する。外国人向けに本市で生活する上での情報を随時提供する。	①岩国基地関係者、各交流団体、市民グループと協働し、市民や外国人双方が興味の持てる内容を検討し、周知にも力を入れる。 ②日本語、英語ボランティアの養成講座を開催し、人的資源を拡充するとともに、日本語ボランティアの支援方法を引き続き検討する。また、外国人からの相談内容について整理し、マニュアル化を検討する。	①たけのこ掘りや餅つき、フリマ、ハロウィン、カルチャーフェスなどを実施し多くの市民や外国人を参集した。 ②日本語や通訳のボランティア養成講座を開催し、人的資源の拡充につなげた。また、外国人住民に生活・仕事ガイドブックを配付し、相談に対応した。
誰もが気軽に安全にスポーツに親しめる環境をつくる。スポーツを通じた交流人口を増やすとともに、スポーツ指導者の指導力や競技者の技術力を向上させる。	①初心者から上級者までスポーツに親しめるスポーツイベント等を実施する。スポーツ施設を安全かつ便利に利用できるよう適正に維持管理する。 ②プロスポーツを観る機会やトップアスリートとの交流の場を創出する。トップレベルの指導者による講義や技術指導を行う。	①週1回以上スポーツを行う成人の割合を増やす。子どものスポーツへの関心を高める。スポーツ施設の活用を促進する。 ②スポーツを通じた交流人口を増やす。スポーツへの関心や競技力を向上させる。	・市民健康スポーツのつどいスポレクフェスタの実施 ・日米親善リレーマラソン、IWAKUNI絆EKIDEN、錦帯橋ロードレースの実施 ・岩国運動公園の設備改修 ・フェンシング加納虹輝杯の実施 ・プロ野球交流戦(岩国市)の実施 ・スポーツ合宿助成事業を活用した合宿の積極的な誘致 ・日本体育大学との連携事業を実施	スポレクフェスタ、日米親善リレーマラソン、IWAKUNI絆EKIDEN、錦帯橋ロードレースなど市民が各々のレベルに応じて参加できるスポーツイベントを開催した。 ・岩国運動公園の設備改修を適時行った。 ・フェンシング加納虹輝杯やプロ野球交流戦(岩国市)を実施した。 ・スポーツ合宿助成事業として、6チーム(延べ40人、市内で174泊)への支援を行った。 ・日本体育大学との連携事業は、コロナの影響により、障害者スポーツ強化支援のみの実施となった。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

市民生活部

市民生活部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 市民生活部長 小玉 陽造

市民が市政を身近に感じながら、笑顔で安心安全に暮らし続けていくため、自助・共助を活かした支えあいと協働でつくる絆のあるまちづくりを目指します。

市民課 設定者 市民課長 鳥川 真由美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
個人情報に関することは、厳格に対応する。	個人情報の適正な管理と取り扱い	個人情報の管理を徹底し厳格化することで、市民の安心と信頼を図る。	①証明書等発行時には、複数人で確認する。また、窓口で交付する際は、申請者に証明書の内容を確認のうえ、交付する。 ②個人情報が記載されている書類を他の職員に引き継ぐ際には、声掛けを必然とする。 ③業務終了時は、複数人で確認しながら施錠のできるキャビネット等に収める。 ④各個人の机上の整理を徹底する。	・証明書等交付する際、出力者、レジを打った者、交付者の3名で申請書と発行した証明書の内容を確認し、窓口で申請者に渡す際にも証明書等の内容確認を依頼した上で交付している。 ・机上の整理や業務終了時は施錠のできるロッカー等への収納を徹底している。
個人番号カードの普及促進	個人番号カードの円滑な交付・更新	個人番号カードをスムーズに交付・更新することにより市民サービスの向上と満足度の向上を図る。	①時間外や休日に交付窓口を開設し執務時間内に来庁できない市民に対し個人番号カードの交付・更新処理を実施する。 ②商業施設等に出向き、個人番号カード交付申請補助を行うことにより申請時の負担を軽減する。	・個人番号カード交付時に予約制を導入することにより、カード交付時の待機時間を短縮し、市民サービスの向上を図った。 ・商業施設、ワクチン接種会場等に出向き、個人申請支援を実施し個人番号カードの普及促進に努めた。
住民基本台帳・戸籍の証明書等の発行をスムーズに行う。	住民基本台帳、戸籍の証明書等の円滑な発行	個人番号カードによるコンビニ交付の推奨	個人番号カード取得者に対しコンビニのマルチコピー機による証明書交付を推奨する。	個人番号カード交付時及び所持者に対し、自動交付機での証明発行を推奨し窓口での混雑の緩和に努めた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

環境部

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 神足 欣男

市民・事業者と協働してごみの減量やリサイクル、地球温暖化対策や省エネルギーなど循環型社会・低炭素社会に向けた取組を推進し、地域の環境保全に努めます。

環境保全課 設定者 環境保全課長 中原 剛

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
環境保全につながる新たな取組を毎年度実施する	情報発信および啓発の工夫と強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が情報を受け取る機会や手段が増える。</li> <li>・市民自ら得ようとしていない情報が市民に伝わる。</li> </ul>	従来型の媒体(市広報紙及び市HP)による情報発信・啓発の増および、新たな媒体での情報発信・啓発。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物愛護関係の周知徹底を図るため本庁1階大型モニターによる長期放映を実施した。</li> <li>・市民等への温暖化対策の周知啓発を図るため、従来型の媒体(市広報紙及び市HP)に加えて、出前講座、イベント出展の実施や、SNSによる情報発信・啓発を行った。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

環境部

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 神 足 欣 男

市民・事業者と協働してごみの減量やリサイクル、地球温暖化対策や省エネルギーなど循環型社会・低炭素社会に向けた取組を推進し、地域の環境保全に努めます。

環境事業課 設定者 環境事業課長 米原 正和

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
環境教育の充実	出前講座	ごみの発生・排出削減、リサイクルを進めるため、市民・事業者にごみの減量や分別の意義などについて認知度の向上を図る。	出前講座等を通じて、学校や自治会に対してのPRを実施する。	令和4年度実績 出前講座10件267名 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止した時期があり。
生ごみ削減のための3キリ運動推進	生ごみ処理機器購入補助金交付制度	生ごみ処理機器の年間170基以上の補助を通して、生ごみの発生抑制(食材の使いキリ、料理の食べキリ)と水キリの啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ(通年)</li> <li>・広報いわくに(年1回)</li> <li>・自治会への班回覧(通年)</li> <li>・環境イベント(6月・11月)</li> <li>・ごみ収集カレンダー内に掲載</li> </ul>	生ごみ処理機器購入補助金については、令和4年度実績は172基の補助金を交付し、目標基数をほぼ達成した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

環境部

環境部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 環境部長 神足 欣男

市民・事業者と協働してごみの減量やリサイクル、地球温暖化対策や省エネルギーなど循環型社会・低炭素社会に向けた取組を推進し、地域の環境保全に努めます。

環境施設課 設定者 課長 古本 健二郎

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
「岩国市一般廃棄物処理基本計画」に沿って、安定したごみ処理及びごみの有効利用を促進し、環境保全と経済性を両立した処理施設の運営管理を行う。	清掃処理施設の維持管理	施設に搬入されるごみを適正に処理する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃処理施設の機能改善</li> <li>・民間活力の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃処理施設の精密機能検査や設備の保守点検を実施するとともに、計画的に改修・修繕を実施した。</li> <li>・清掃処理施設の民間委託へ移行するに当たり、課題や問題点について検討・協議をした。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康福祉部

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 木原 眞弓

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送られるよう支えます。

社会課 設定者 社会課長 村重 武志

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生活に困窮している市民や生活に不安を抱えている市民が、安心して生活できるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮者自立支援制度や生活保護制度等の適切な運用</li> <li>地域での助け合いや見守り体制等の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活保護に至る前の段階での自立支援を図るとともに、要保護者や被保護者に対して最低限度の生活を保障した上で自立助長を支援する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い創設等された各種支援制度を活用した生活支援を行う。</li> <li>民生委員・児童委員など各地域における見守り・相談体制等を確保するとともに、それらの活動内容等を地域住民に周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮者からの仕事や家計などの相談に対しては、就労支援や家計管理支援などを行うとともに、被保護者に対しては、個々の能力や就労阻害要因等を勘案し、支援プログラムに基づく就労支援を行うなど、自立に向けた支援を行う。</li> <li>感染拡大に伴い生活に困窮する市民からの申請等に基づき、生活困窮者自立支援金や非課税世帯等に対する臨時特別給付金を適正に給付する。また、特例措置が設けられている住居確保給付金制度等についても、相談者等の置かれた状況に応じて適切に運用していく。</li> <li>民生委員・児童委員の活動内容や役割等について、市報等を活用した広報を行うとともに、本年度は3年に一度の一斉改選の年(12月予定)にあたるため、民児協や自治会等と連携し、必要数(406人)の確保に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○今年度の自立相談支援事業の新規相談件数は、コロナ前の令和元年度と比べて、およそ1.6倍(月平均38件)程度で推移しているが、そのうち19件を就労準備支援事業に繋げている(3月末時点)。</li> <li>○また、今年度の感染拡大に伴う主な支援制度の活用状況は以下のとおり。</li> <li>・特例貸付:緊急小口28件、総合支援16件</li> <li>・住居確保給付金の特例措置:3月末時点で新規申請9件</li> <li>・自立支援金:3月末時点で新規申請60件</li> <li>・非課税世帯等に対する臨時特別給付金:支給決定世帯数19,380世帯(申請率96.2%)</li> <li>○地域の身近な相談相手である民生委員・児童委員について、広報いわくに5/1号に巻頭特集で記事を掲載し、活動内容や役割等を市民に紹介するなど周知を図った。また民生委員の担い手不足が懸念されている中で行われた12月の一斉改選では、必要数406人に対して394人(3月末時点:充足率97.0/全国平均93.8)を確保し、概ね現状を維持することができた。</li> </ul>
地域福祉計画に掲げた基本理念に基づき、各種施策、取組の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見制度利用促進基本計画の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成年後見制度の利用を促進するため関係機関・団体等との連携による地域連携ネットワークの体制づくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度設置した中核機関を中心として、福祉や司法等の関係団体と協議を行い、地域連携ネットワークの基盤となる「協議会」を立ち上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成年後見制度利用促進事業で今年度から設置した中核機関に上半期に寄せられた相談件数は延べ91件。併せて、利用促進に向けて介護支援専門員を対象とした研修会への参加、また医療機関や障害者施設等に設置している相談機関等への事業紹介など普及啓発を行った。地域連携ネットワークの基盤となる「協議会」の設置については、年度内での立ち上げには至らなかったが、県内の家事関係機関との連絡協議会に参加するなど、運営方法や取組み状況等の情報収集を行った。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康福祉部

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 木原 眞弓

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送られるよう支えます。

障害者支援課 設定者 障害者支援課長 河村 憲二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
障害及び障害のある人に対する理解を促進し、共生社会の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害及び障害のある人に対する理解促進及び普及啓発</li> <li>・コミュニケーション支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民との交流活動の推進</li> <li>・手話や要約筆記などのコミュニケーション手段の利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身障害者(児)理解促進・啓発事業等の開催</li> <li>・手話通訳者及び要約筆記者の人材確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月3日、発達障害を公表している落語家「柳家花緑」氏を講師に招いて市民を対象に講演会を開催し、193人の参加があった。</li> <li>・12月3日～5日、岩国市民文化会館で心身障害者(児)作品展を障害者週間にあわせて開催し、264人の来場者があった。</li> <li>・手話奉仕員養成等講座を開催し、今年度の手話奉仕員新規登録者は6人となった。</li> </ul>
地域での暮らしの安心感を担保し、自立を希望する障害者等を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児支援体制の充実</li> <li>・自立を希望する障害者への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児への身近な場所での通所支援</li> <li>・障害者の生活を地域全体で支えるサービス体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児への支援</li> <li>・障害者共同受注センター参加事業所の工賃向上及び新たな発注元の開拓</li> <li>・地域生活支援拠点を活用した地域生活への移行・定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が運営している児童発達支援の「太陽の家」に看護師を配置し、医療的ケア児の受入れを開始した。</li> <li>・障害者共同受注センターの官公需の受注実績は1,690万円、昨年度より増加していることから、通所する障害者の賃金水準の向上ができた。</li> <li>・地域生活支援拠点を利用した障害者は延7人であったが、体験利用にとどまり、地域生活の移行までにはつなげられなかった。</li> </ul>
福祉医療費助成の適正化及びこども医療費の継続助成を図る。	福祉医療費助成及びこども医療費助成の適正管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉医療費の誤請求の防止</li> <li>・こども医療費助成の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国保連合会からのデータを活用した縦覧点検及び医療請求情報との突合による点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプト点検を行う職員を配置し、誤請求を防止した。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康福祉部

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 木原 眞弓

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送られるよう支えます。

こども支援課 設定者 課長 石井 寿浩

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
こどもの個性が尊重され健やかに成長できる環境の実現。	(1) 保育園の老朽化対策と運営改善。	老朽化が著しい施設の改善に向けた方向性の検討。また園運営にかかる民間活力の部分導入。	①2次整備計画期間内に目途を立てるための素案作成。 ②比較的施設の新しいにこにこちどり園の給食調理業務の民間委託。	①保育園建替えは平行する他事業の進捗に合わせ関係各課と協議を進めた。 ②R5. 4.1から民間委託開始。
	(2) 放課後児童教室の受け入れ態勢強化	待機児童解消に向けた場所の確保。またGIGAスクールに対応した環境の整備	① 学校との協議や周辺空き物件等の調査等を行い1か所確保。 ②Wifi環境を整備し放課後教室でもタブレット使用可能な環境を目指す。	①学校との協議で余裕教室を1教室、他校で空き店舗を1件確保した。 ②全教室で環境整備終了。
	(3) 子育て支援に向けた相談体制の充実	子育てに不安や悩みを持つ家庭に対して、関係機関が連携して適切な相談支援を行う。	①多様化、複雑化する相談支援ではあるが 情報収集とともに、関係機関と連携を密にし更に迅速な問題解決を図る。 ②民間支援団体の育成と機能強化を推進する。	①相談件数とそれに伴う実務者会議を開催し要保護児童地域協議会に繋げ迅速な解決に結びつけている。 ②需要の高まっている子育て短期支援事業において民間事業所が増設され機能強化が図れた
	(4) 諸計画との検証、調整	子育て支援策等は本市の諸計画と連動して動いており全体的な視野から方向性の確認を行い必要に応じ調整を行う。	①第3期岩国市子ども・子育て支援事業計画に向けた検証の実施。	①3年ぶりに子ども子育て会議を開催し諸問題について審議し第3期計画に向けた問題の洗い出しを行った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康福祉部

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 健康福祉部長 木原 眞弓

人としての尊厳をもって、地域や家庭のなかで、その人らしい自立した生活が送られるよう支えます。

高齢者支援課 設定者 高齢者支援課長 柏崎 太

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域包括支援センターの機能強化を図る。	地域包括支援センター委託事業	直営地域型の地域包括支援センター5箇所について、業務を適切、公正、中立かつ効率的に実施する法人に令和6年度から委託するため、調査・準備等を行う。	委託のエリアや要件などについて、調査・見直しをする。	包括の委託に関し、エリアや事務所設置などの要件見直しについて運営協議会に諮った。
高齢者自らが地域で介護予防活動に取り組めるよう支援を図る。	・介護予防・日常生活支援総合事業 ・生活支援体制整備事業	・高齢者が地域で介護予防に取り組む「通いの場」(タイプ3も含む)を育成し、参加する高齢者を増やす。 ・「ご近所ささえあい会議」の設置を増やす (R3:31カ所をR4:32カ所以上) ・生活支援の資源創出できる。	・「介護予防教室」(タイプ3も含む)を開催し、「通いの場」等の団体を増やす。また、活動に参加する高齢者を増やす。 ・協議体を運営し、高齢者の生活を支える仕組みを作る。	・通いの場(タイプ3も含む)の立ち上げを支援し、新たに7カ所増やした。 ・ご近所ささえあい会議の設置は35カ所に増やした。 ・高齢者生きがいボランティアグループは、99団体となり、資源創出できた。
地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。	・地域包括ケア推進協議会運営事業 ・在宅医療介護連携推進事業	・人生会議(ACP)の啓発と、医療・介護・福祉の一体的な提供の仕組みづくり。 ・困難事例の支援者の包括的支援体制の整備	・日常生活圏域会議や多職種研修会を開催(専門職)する。 ・市民へ普及啓発する。 ・複合的な課題への対応できる他部署と連携の場をもつ。	・日常生活圏域会議を5カ所全地域で実施した。多職種研修会は、圏域会議の結果から、各職能団体の合同研修の実情を踏まえ、実施について検討中。 ・市民講座や市政番組、リーフレットの作成配布にて、人生会議の普及啓発を実施した。 ・複合的な課題をもつ事例に対し、関係機関で共有する会議・研修会に参加した。
認知症支援体制の充実	認知症総合支援事業	・認知症への理解等の普及啓発を促進する。 ・地域で認知症の人を見守る体制を強化する。	・認知症サポーター養成講座を若年層(中学生)や高齢者と係わりの多い事業所等で実施する。 ・はいかい高齢者等SOSネットワーク事業の事前登録者・協力事業所を増やす。 ・チームオレンジの活動地域を増やす。	・中学校6回を含め、21回認知症サポーター養成講座を実施した。 ・はいかい高齢者等SOSネットワーク事業では、新たに51事業所から協力の申出があった。 ・周東・玖珂地区でチームオレンジの活動が開始した。
高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活を継続することができる体制を推進する。	・緊急通報システム整備事業 ・高齢者生き行きサポート事業 ・錦川清流線回数券購入助成事業 ・柱島航路運賃助成事業	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる体制を整備する。 ・移動手段がない高齢者に対し外出支援を促す。	・今年度から携帯型の緊急通報システムが選択可能となったことから、緊急通報システムの利用者を増やす。 ・移動困難な高齢者に対しタクシー利用券を交付し、高齢者の外出を支援する。 ・錦川清流線、柱島航路の利用に関して、敬老優待乗車証を活用し、運賃の助成を行うことにより、高齢者の外出を支援する。	・緊急通報装置の利用者は、819件(休止含む)となった。 ・タクシー利用券を9,013人に交付した。 ・敬老優待乗車証による運賃助成については、柱島航路が942件、錦川清流線が45件の申請があった。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康福祉部(保健担当)

健康福祉部(保健担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 部長 片瀬 智恵

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をします。

健康推進課 設定者 健康推進課長 岡崎 由起

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
健康づくりの推進体制の充実を図り、市民自らが生活習慣病予防や健康づくりに取り組む。	①第2次岩国市健康づくり計画を推進するため、行政部会、地域部会、市民部会および協賛企業・団体との連携、協働を強化する。 ②新型コロナウイルスに関する情報発信や円滑なワクチン接種を行う。	①感染防止対策を取りながら、健康づくり事業の再開をすすめる。 ②特定健康診査受診率を上げる。(感染拡大前の受診率 平成31年度 29.9%を上回る。) ③特定保健指導実施率を上げる。(感染拡大前の利用率 平成31年度 26.1%を上回る。) ④新型コロナワクチンの接種を希望する人が接種できる体制を整備する。	①第2次健康づくり計画の中間評価を行う。 ②生活習慣病(糖尿病、肥満)予防やこころの健康づくりなど、地区活動などにおいて啓発する。 ③地区組織(健康づくり登録団体、食推、母推、協賛企業等)、行政部会と連携・協働した健康づくり計画に基づく取り組みを継続する。 ④特定健康診査の受診勧奨、未受診者対策としての対象者別の受診勧奨を行う。	①健康づくり計画の中間評価を行う過程において、地域部会や市民部会と健康課題や目指す方向性について共有することができた。 今後の健康づくりの推進につながるものとする。 ②特定健康診査受診率 令和3年度 30.2%(感染拡大前の受診率を上回った) ③特定保健指導実施率 19.1%(R3の確定値であり、感染症予防に伴う教室の開催控えが影響していると考えられる) ④接種体制の整備、感染予防対策等の市民への情報発信を適宜行った。
安心して妊娠・出産を迎えることができ、子供が健やかに成長・発達できるための取り組みを行う。	①妊娠・出産・育児に関する正しい知識の普及啓発を図る。 ②安心して子育てができるように相談支援を行うとともに、相談場所の周知を図る。 ③子育てに関わる関係機関や支援者等と母子保健の現状を共有し、連携した子育て支援を行う。	①出産後3か月頃の満足度(3か月児健診アンケートで「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか。」の問いに「そう思う」と回答した保護者の割合)の割合が高くなる。	①妊産婦及び乳幼児の保護者に対して、教室や相談、健診などの場、母子モなどによる情報発信により、正しい知識の普及啓発を図る。 ②保育園・幼稚園等施設、地域子育て支援センター、小児科等医療機関等、子供に関わる関係機関との連携の維持・強化を図る。 ③思春期教室の開催など学校との連携による思春期保健の取り組みをすすめる。	①出産後3か月頃の満足度で、「この地域で今後も子育てしていきたいですか。」の問いに「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した保護者の割合は、令和3年度 97.9%、令和4年度98.5%と高い割合を維持している。 ②出産・子育て応援給付金事業による伴走型相談支援、母子モいわくになどSNSを活用した情報発信など支援の充実を進めた。 令和5年度から1歳児健康診査を開始する。 ③中学校等と連携し思春期保健の向上に努めた。(KPI目標値の達成)

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康福祉部(保健担当)

健康福祉 部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 保健担当 部長 片瀬 智恵

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をします。

保険年金課 設定者 保険年金課長 村重 和美

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の健康寿命の延伸と医療費の適正化を図る。	保健事業の強化	特定健診に対する意識が高まり、特定健診受診率と特定保健指導実施率を県平均以上とする。	①特定健診の全対象者に受診券を送付する。 ②未受診者対策としてAIを活用した対象者のタイプ別受診勧奨を実施する。 ③特定保健指導の推進。 ④特定健診自己負担額の無料化。	県の直近の統計資料によると、令和3年度の岩国市の特定健診受診率は30.2%で、県平均31.6%に達していない。特定保健指導実施率は、岩国市19.1%で、県平均14.8%を超えている。 ※令和4年度の数値が確定するのは、令和5年9月頃の予定。
		糖尿病の重症化予防のため、糖尿病性腎症重症化予防事業の保健指導参加者の腎症の病期を維持する。	①Ⅱ型糖尿病を起因としている腎症の顕性期(Ⅲ期)及び腎不全期の者(がんや難病等治療中の者を除く)。 ②糖尿病の治療中断者、未治療者。 ①及び②のうち、事業参加者に対して、保健指導を実施する。	糖尿病性腎症重症化予防事業参加者に対して12回の保健指導を実施。対象者210人のうち7人が事業参加し、5人が指導完了。全員が病期を維持している。 ②糖尿病治療中断者11人、未治療者11人に受診勧奨を通知し、3人が受診されている。
	後発医薬品の利用促進	後発医薬品の利用に関する理解が広まり、使用率の数量シェアが80%以上の状況を維持する。	後発医薬品利用促進のための差額通知や周知パンフレット・希望カードに加えて、被保険者全員にシールの配布を行う。薬剤師会にも周知パンフレット掲示等の協力を依頼し、利用促進を図る。	直近の統計資料令和5年3月調剤分において、岩国市の後発医薬品使用割合は83.4%で、目標値に達している。
安定的な国民健康保険の運営を目指す。	適正な保険料の賦課と徴収及び、必要な保険給付の適正な給付	・所得状況に応じて、適正に保険料を賦課するとともに、現年度納付率が前年度実績の0.17%増の状況を維持する。 ・保険給付を必要とする被保険者に対して正しく給付する。 ・さらに予算執行についても適正に処理し、安定的な事業運営に取り組む。	・未申告者へ申告勧奨文書と申告用紙を送付して収入状況の把握を行う。 ・コールセンターと連携して保険料未納付者への催告を強化する。 ・療養費の支給制度や申請手続きについて適切な説明と周知を行う。	令和4年度は3月末現在、所得未申告388世帯420人に対して申告勧奨通知を送付し、保険料未納者に対して4,233件の未納のお知らせや催告等を行った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康福祉部(保健担当)

健康福祉部(保健担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 部長 片瀬 智恵

市民の命と健康を守り、その暮らしを支え、市民が生きがいのある生活を送れるよう支援するという保健福祉行政の使命を常に念頭に置き、市民目線で仕事をします。

介護保険課 設定者 介護保険課長 中本 十三夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
介護給付を必要とする受給者を適切に認定し、コロナ禍にあっても速やかな要介護認定を行うよう取り組みます。	・要介護認定の適正化 ・認定審査会の適正かつ速やかな運営	①適正な要介護認定を行うことで、受給者が必要とするサービスが過不足なく提供される。 ②新型コロナウイルスが感染拡大した場合でも、適切な方法で審査会を運営することで、適正で速やかな要介護認定が行われる。	①委託認定調査票の職員によるダブルチェック100% ②感染状況等に応じて、介護認定審査会における対面方式、郵送方式、オンライン方式を適切に選択して開催する。	①居宅介護支援事業所等の外部の事業所に委託した認定調査については、すべて1件当たり2回職員を替えて点検を行い、不明な点は調査員に照会することで要介護認定の適正化を図った。 ②審査会と調整を図り、オンラインに対応できる合議体を増やす等、コロナ禍でも速やかな認定を実現した。その結果、過去2年と比較し、審査終了までの平均処理日数を6日以上短縮できた。
受給者に対して適切なサービスを確認しつつ、介護給付費および介護保険料の上昇を抑制していくことで、介護保険制度への信頼を高め、持続可能な介護保険制度の構築に取り組みます。	介護給付適正化事業	①利用者に対する適切な介護サービスを確認する。 ②不適正な給付を削減することで、介護保険制度の信頼感を高める。 ③介護給付費や介護保険料の増大を抑制することを通じて、持続可能な介護保険制度を構築する。	①ケアプランの点検(適切なケアマネジメントによりサービス提供がされているか等を確認) ②住宅改修等の点検(提出書類では判断できない事例について、訪問調査を実施) ③縦覧点検・医療情報との突合(国保連から提供されるデータを活用した縦覧点検及び医療情報との突合により、不適切な給付の有無を点検) ④介護給付費通知(年2回サービスの利用状況を本人等に通知)	①不適正な給付の防止に努めるべく、ケアプランの点検を117件実施した。 ②適正な住宅改修であるか点検を行い、提出書類では判定できない2件については訪問調査を実施した。 ③国保連協会からのデータを活用して毎月請求内容について点検・突合を行い、過誤があれば修正した。 ④介護サービス利用者・家族に9月末と3月末にサービス回数や費用額について介護給付費通知を行った。
地域、関係機関・団体、サービス提供者等と連携を図り、介護人材の確保・定着・育成の取組に一体的に取り組みます。	・新卒介護福祉士就職支援給付金給付事業 ・中学生に対する職業講話 ・ケアマネジャーに対する支援	①新たに市内の介護サービス事業所に勤務する10名の新卒介護福祉士を確保する。 ②中学生等の若年層に対し、介護についての興味・関心を高め、理解を促進する。 ③ケアマネジャー不足によるサービス利用の停滞を防ぐ。	①「新卒介護福祉士就職支援給付金給付事業」を周知、推進する。 ②市内の中学校5校以上について、介護に関する職業講話を行う。 ③ケアマネジャー支援策を検討・創設する。	①「新卒介護福祉士就職支援給付金給付事業」について、市内全対象事業所にFAXするとともに、県東部や広島市の養成機関を訪問し、事業の周知を行った。結果としては、新たに介護福祉士として就職した6名に給付金を給付できた。 ②市内の中学校5校において、介護職員による職業講話を行い、中学生の介護職に対する理解促進に努めた。 ③ケアマネジャー支援のため、「介護支援専門員就労促進・継続支援給付金給付事業」を創設し、令和5年度から実施することとした。

<p>介護保険制度の健全で適正な運営とサービスの質を確保し、受給者が真に必要なサービスが事業者が適切に提供されるよう促します。</p>	<p>・介護サービス事業所に対する集団指導 ・介護サービス事業所に対する実地指導</p>	<p>①不適切なサービスの提供をなくし、事業所のサービスの質を確保する。 ②感染症拡大時や災害発生時においてもサービス提供ができる体制を維持する。</p>	<p>①介護サービス事業所に対する集団指導を年2回行い、適正なサービス提供のための必要な情報を伝達し、事業継続に対する意識の醸成を図る。 ②介護サービス事業所に対する実地指導を40件以上行い、適正なサービス提供のための取組みに援助的指導を行い、感染症対策、災害に関する具体的な計画の策定状況の確認等を行う。</p>	<p>①介護サービス事業所に対する集団指導は、コロナ禍のため書面開催となったが、2回実施することができた。 ②介護サービス事業所に対する実地指導(運営指導)は、コロナ禍のため、13事業所にとどまったが、適正な運営のための指導や体制の確認を行った。</p>
---	--	---	---	---

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

健康福祉部(地域医療担当)

健康福祉部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 地域医療担当部長 山田 真也

市民が安心して暮らし続けることができるよう、持続可能な医療環境の確立を目指します。

地域医療課 設定者 地域医療課長 大畠 辰巳

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市内医療機関等に勤務する医師や医療スタッフを増やす。	市内医療機関の医療スタッフの確保対策	市内医療機関に勤務する医療スタッフの増加	病院に勤務する医師の確保や医師が不足している診療科や地域への確保対策の推進	関係機関との協議を継続中 やまぐち地域医療セミナーを実施した。
	研修医受入支援事業の実施	将来、市内医療機関に従事する医師の確保	研修医受入支援事業の実施	研修医受入支援事業を実施した。
玖北地域に将来にわたって継続できる医療提供体制を構築する。	持続可能な医療提供体制の検討	玖北地域において、持続可能な医療提供体制を構築する。	病院事業との協議の継続 次期病院事業改革プランの作成及び実施	令和5年度に公立病院経営強化プランを策定する準備をしている。
	市立病院の医療スタッフの確保対策	市立病院の医療スタッフを確保する。	医療スタッフの公募を行うとともに、新たな確保対策の実施	公募および紹介事業を積極的に行った。令和4年度に医師2名の入職があった。
	美和病院建設事業の推進	新病院の建設	造成工事着手	造成工事が竣工する。 建物本体工事に着手する。
救急医療の堅持と適正受診の推進。	岩国市救急医療対策協議会・専門部会の開催	本市の救急医療についての情報共有を行い、施策の方針を確認する。	専門部会の開催・情報の共有	専門部会を開催した。
	救急医療機関への運営支援	本市の救急医療提供体制を確保する。	救急医療機関への運営支援	救急医療機関へ運営支援を行った。 感染症対策医療材料備蓄事業などを行った。
	救急医療適正受診の啓発	救急医療の崩壊を防ぐため、軽症者のコンビニ受診を抑制する。	様々な媒体を利用して啓発を行う。	新型コロナウイルス感染症の影響がある中でできる範囲の啓発を継続した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加納 芳史

既存産業の振興や創業の支援と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。

・地域に根付く既存産業の振興や企業誘致、創業支援

商工振興課 設定者 商工振興課長 上田 清次郎

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
新型コロナの影響を受けた市内経済を活性化させる。	プレミアム商品券発行事業	市内事業者のうち、特に大きな影響を受けた飲食・宿泊、小売り、理美容などの売上回復の一助となる。	1セット7千円分の商品券を5千円で販売し、1世帯当たり3セット購入可能とする。	・商品券発行による直接消費が約10億円発生し、そのうち、中小規模店専用券の導入によって全体の約54%が地元中小事業者で使用された。 ・第3弾発行の主目的である地元事業者の支援につながった。
製造業等の企業誘致・設備投資に加え、テレワークやワーケーションなど時代の潮流に対応した企業誘致を促進する。	サテライトオフィス等活用促進事業	・市民が多様な働き方に対応できるスキルを習得し、就業機会が拡大するとともに、市内事業所の生産性が向上する。 ・IT企業やサテライトオフィス等を誘致し、新たな雇用やイノベーションが創出される。	・テレワーク等に必要なICT技術を習得できる講座を実施するとともに就業の支援を行う。 ・地方へ進出意向のある企業にアプローチし、市内視察等の誘致に向けた取り組みを実施する。	・3回のセミナーとeラーニングに加え、就労に向けた支援を実施 ・eラーニングは32人が受講し、年度内に1人の就労につながった。 ・ターゲット企業へのアプローチを行い、進出検討企業16社とweb面談を実施、そのうち8社が本市を視察し、1社の進出決定につながった。さらに2社が進出検討を進めている。
市民の起業・創業を促進する。	しごと創業支援型地域活性化事業	創業を目指す人材をハード、ソフト両面で支援し、市内での起業・創業が促進される。	ClassBizにおいて、シェアオフィスやコワーキングスペースを提供するとともに、創業に必要なセミナーや個別相談などを通じて伴走型の支援を実施する。	・シェアオフィスは年間を通じて満室状態、コワーキングスペースも月平均238人の利用があった。 ・月1回のイベントセミナー、月4回の個別相談会などClass Bizの支援を受けて8人が実際に創業した。
若者の地域雇用を促進する。	市内企業情報誌発信事業	大学進学前の学生やUJIターンを検討する人材に市内企業を魅力を発信することで、地元雇用や定住が促進される。	企業情報誌及びホームページの更新にあわせ、掲載企業を増やし、若者への情報発信を強化する。	今年度も掲載企業の更新を行い、新規掲載企業の募集も行ったが、企業側の採用事情等により、前年度より少ない8社の掲載に留まった。引き続き掲載企業数の増加に努め、魅力ある市内企業の情報発信に努める。
本市特産品のブランド力と認知度を向上させる。	地域ブランド推進事業	岩国ブランドの魅力が全国で認知され、地元特産品の購買力が向上し、地域産業が活性化される。	統一ブランド商品「つまんでちよんまげ」のPR動画第2弾を軸に、全国に向けたプロモーションを実施する。	・動画第2弾として3本のショート動画を制作。YouTubeで合計約35万回の視聴回数を達成 ・10月の動画発表に合わせ第4期となる新商品1品を追加。3月には第5期商品として3品を追加し、シリーズの魅力向上に務めた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加納 芳史

既存産業の振興や創業の支援と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。  
・地域に根付く既存産業の振興や企業誘致、創業支援 ・観光交流人口及び観光消費の拡大による経済振興

観光振興課 設定者 課長 山本 隆

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
観光情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内身近な観光情報の発信</li> <li>市内イベント情報の発信</li> <li>イベント等でのフォロー誘</li> </ul>	フェイスブックとインスタグラム共に、年間でフォロワー数500の増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者と連携し、魅力ある観光情報の発信を図る。</li> <li>目的をもったターゲット層向けの情報発信を図る。</li> </ul>	フェイスブック 約100増 インスタグラム 約900増 フェイスブックは目標に至らなかったが、インスタグラムでは目標を大きく上回った。 民間事業者と連携した情報発信による成果となった。
滞在型・周遊型観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>錦帯橋周辺における体験観光の周知徹底。</li> <li>新規イベントの創設支援</li> <li>体験実施団体との連携</li> </ul>	アンケート調査における滞在時間4時間以上の割合について増加を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>錦帯橋周辺の体験コンテンツの情報を効果的に発信する。</li> <li>イベント支援補助により、新規イベントの創設を図る。</li> <li>体験実施団体と連携し、利用しやすい取組みを図る。</li> </ul>	4時間以上の割合が増加 5.5% → 6.25% 錦帯橋・桜のライトアップ事業や錦帯橋周辺新規イベント、民間事業者による錦帯橋周辺謎解きゲームの実施などのほか、各種体験コンテンツの情報発信により、若干ではあるが増加となった。
観光受入環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光駐車場の整備に向けた取り組み</li> <li>岩国城・岩国城ロープウエーの施設改修に向けた取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下河原駐車場の縮小を目指し、新設の駐車場を整備する。</li> <li>岩国城・岩国城ロープウエーの施設改修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新設駐車場の整備を図る。</li> <li>岩国城・岩国城ロープウエーの改修方針を決定する。</li> </ul>	庁内関係課との協議を行い、岩国城・岩国城ロープウエーの改修方針について、内部調整を行った。 今後、最終的な改修スケジュールを作成し、予算要求を行っていく。
空港の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>開港10周年記念事業の取り組み</li> <li>ツアー造成に向けた魅力ある観光情報の発信。</li> <li>市内・近隣に向けた沖縄線の利用向上の取り組み</li> </ul>	羽田線・沖縄線での搭乗率を前年度比1割以上増の回復を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>開港10周年記念イベントを実施する。</li> <li>開港10周年記念ツアーを実施する。</li> <li>羽田線及び沖縄線の利用促進として、魅力ある観光広告等を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開港10周年記念式典・イベントの実施 令和4年12月10・11日 2日間</li> <li>開港10周年記念ツアーの実施 北海道ツアー 令和4年9月29日～10月1日 沖縄ツアー 令和5年2月16日～18日</li> </ul> 記念式典・イベント及び記念ツアーともに大変好評で、記念ツアーは販売数日で満席になる状況であった。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加納 芳史

既存産業の振興や創業の支援と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。  
・観光交流人口及び観光消費の拡大による経済振興

錦帯橋課 設定者 錦帯橋課長 善村 雄二

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
錦帯橋を文化財として保存管理を行う。	錦帯橋保存管理事業	錦帯橋を定期的に点検し、適切な対応の実施により、安全な状態を維持する。	・毎日及び毎月の点検を行う。 ・点検で発見した箇所を速やかに対応する。	・毎日及び毎月の点検を実施した。 ・点検において発見した箇所は速やかに修繕等を行った。
錦帯橋と岩国城下町及び周辺の山々を文化財として保存活用を行う。	文化的景観保存活用事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止対策を踏まえ、重要文化的景観として選定された区域(城山、岩国山、錦川、横山地区、岩国地区)を整備するための計画を策定し保存活用を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止対策を踏まえ、文化的景観整備計画の策定に着手し、重要な構成要素の現状調査及び歴史的建造物の把握を行う。	文化的景観整備計画の策定に着手し、重要な構成要素の現状調査及び歴史的建造物の把握を行った。
錦帯橋の世界遺産登録への取組を推進する。	錦帯橋世界遺産推進事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止対策を踏まえ、「世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書 錦帯橋」を更新するための調査研究を進め、取組について啓発活動を行う。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止対策を踏まえ、錦帯橋の調査研究や各種委員会の開催、普及啓発イベントを検討する。	・錦帯橋の調査・研究を進め錦帯橋世界文化遺産専門委員会を開催した。 ・国外との合意形成を進めるため国際オンラインミーティングを実施した。 ・普及啓発を推進するためパネル展を開催した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部

産業振興部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 産業振興部長 加納 芳史

既存産業の振興や創業の支援と魅力ある観光のまちづくりを通して、地域経済の活性化を図ります。  
 ・地域に根付く既存産業の振興や企業誘致、創業支援 ・観光交流人口及び観光消費の拡大による経済振興

生産流通課 設定者 生産流通課長 野村 康生

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の食生活の安定及び向上に資するため、市場の適正かつ健全な運営を確保する。	経営戦略の推進	市場事業を将来にわたり安定的に継続させるため、経営戦略を推進し、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場内業者の連携により、集荷及び販路を拡大する。</li> <li>空き店舗・空き施設の解消、有効活用及び土地の有効利用を図る。</li> </ul>	市場内にJAのれんこんの集荷場を誘致することで集荷の拡大を支援するとともに空き店舗の有効利用を図った。
地産・地消を推進し、地場野菜の市場供給量を増加させる。	農産組織を育成・支援する。	農業振興及び市場出荷に寄与する農産組織を支援することにより、地場野菜の市場出荷を促進する。	栽培研究や出荷資材等に要する経費の一部を補助し、市場出荷する農産組織の育成・支援を行う。	補助の主となっている出荷資材のみならず、補助対象となり得る栽培研究費等の有効活用について助言を行い、農業振興及び市場出荷に寄与する農産組織を支援した。
	地場野菜の消費拡大を図る。	生産から流通、販売、消費に至るまでの体制を強化し、地場野菜の消費拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係諸団体と連携した販売促進活動を実施する。</li> <li>料理講習会や主催・共催イベント等を通じ、地場野菜をPRする。</li> <li>コロナ禍においてでき得るPR、取り組みについて検討・実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩国れんこんの販売促進活動としてイベント4回(ひろしまフードフェスティバル、鳥取お城まつりほか)、量販店1回実施。</li> <li>市内量販店10店舗に設置しているデジタルサイネージ(電子掲示板)を利用して岩国れんこん、わさびのPRを行った。</li> </ul>
	地場野菜の販路拡大を図る。	市場における多様な出荷、販売経路を利用し、地場野菜の市場出荷の安定及び増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場内にある岩国学校給食センターへの食材納入体制を強化し、関係機関との情報共有による地場野菜の確実な納入及び納入量の増加を図る。</li> <li>広島広域都市圏事業の中で、地場野菜の販路拡大を模索する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に1度、岩国学校給食納入会議を開催し、地場野菜の確実な納入ができた。</li> <li>広島広域都市圏事業で、ひろしまフードフェスティバルに参加し、岩国れんこんの販売促進を実施。また、ANAファームの産直空輸プロジェクト事業にて京急百貨店、イトーヨーカドーでの販売促進や東京のおいでませ山口館への試験的な納品を通じ、岩国れんこんの首都圏への販路拡大に向けた足掛かりを作った。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部(農林水産担当)

産業振興(農林水産担当)部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産担当部長 藏田 敦

美しく活力ある農山漁村づくりのため、農林漁業者のしっかりした生活・生産基盤の実現を支援する組織づくりを進めます。

農林振興課 設定者 農林振興課長 藪本 泰男

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やすこと。	就農開始直後の経営安定を図る農業次世代人材投資事業	認定新規就農者を毎年確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>就農相談(随時)</li> <li>就農計画の策定を支援(随時)</li> <li>就農認定後に給付金を交付(原則年2回)</li> </ul>	昨年度に引き続き岩国地域特化型就農相談会を実施、首都圏、関西圏、九州圏の就農相談会にも積極的に参加し、就農希望者の掘り起こしに注力した。また、就農計画策定支援を随時実施し、新規就農者3名、新規就業者4名を確保した。
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やすこと。	ブランド牛産地づくり事業	ブランド牛となる市有牛の飼育(貸付)頭数を80頭にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良子牛保留支援(随時)</li> <li>市内産優良子牛導入支援(随時)</li> </ul>	令和3年度の岩国和牛ブランド化対策事業の制度拡充に伴い、昨年度とほぼ同数の申請(75頭)があり、岩国和牛の市場評価は高い。また、本年度新たに4頭の優良血統の繁殖雌牛を市有牛として導入し、市内農家に貸し付けており、今後この市有牛からの産子により、岩国和牛ブランドのさらなる加速化を期待している。
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やすこと。	林業担い手育成支援事業	森林組合等の林業経営体への雇用を毎年確保する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林環境譲与税を活用した新規就業者用の物品、講習等費用の補助を行う(随時)</li> </ul>	森林組合等の林業経営体に新たな補助の活用をすすめた。2森林組合等で4人の新規採用があった。
収益を向上させる意欲ある農林業者の割合を増やすこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>獣害防止対策事業</li> <li>有害鳥獣捕獲事業</li> </ul>	被害を減少させるため、進入防止柵の設置などの「被害防除」、捕獲による「個体数管理」等の対策を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護柵設置支援(随時)</li> <li>猟友会等による捕獲業務支援(随時)</li> <li>被害防止対策の周知(随時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は、豚熱の影響から捕獲数、防護柵の設置補助件数ともに減少している。このことから、農作物被害額は現時点で未確定ではあるが、減少していると考えられる。</li> <li>また、被害防止対策の周知については、HPへの掲載や出没状況調査の際、地元に対策の周知を徹底している。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部(農林水産担当)

産業振興部(農林水産担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産担当部長 蔵田 敦

美しく活力ある農山漁村づくりのため、農林漁業者のしっかりした生活・生産基盤の実現を支援する組織づくりを進めます。

農林整備課 設定者 課長 佐伯 史公

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
農山漁村の生活環境の向上と、農地・森林等の基盤整備及び環境保全を進めるとともに、経営意欲の高い農林水産業の担い手を育てる。	農山村生活環境施設の保全・整備	農村生産基盤の整備と併せて生活環境整備を充実させる。	農業農村整備事業及び特定防衛施設周辺整備交付金を活用し、農山村生活基盤の整備・保全を行う。	後迫水路整備事業：関係地権者から用地の無償提供の同意を得られ設計も完了したことから年次目標を達成できた。
	多面的機能支払事業	地域資源である農地・水路・能動の維持と資質向上を行う共同活動を推進する。	多面的機能支払(農地維持支払・資源向上支払)交付金による集落ぐるみでの共同活動を支援する。	活動組織が2組織減(34組織→32組織)、取組面積も617ha→595haへ縮小となったが、今後も各組織の活動を支援する。
	林道開設・改良事業	林道の開設・改良による林道密度の向上を図る。	農山村地域の振興や生活環境改善及び効率的な林業経営や森林の適切な維持管理のための林道開設・改良を行う。	県施行の林道の開設・改良事業を着実に遂行させることにより、密度の向上を図ることが出来た。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

産業振興部(農林水産担当)

産業振興部(農林水産担当)の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農林水産担当部長 藏田 敦

美しく活力ある農山漁村づくりのため、農林漁業者のしっかりした生活・生産基盤の実現を支援する組織づくりを進めます。

水産港湾課 設定者 水産港湾課長 下岡 新治

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
漁業生産力を向上させる。	離島漁業再生支援事業	離島漁業集落による漁業の活性化及び振興。	離島漁業再生支援交付金を支給して支援する。	交付金を活用した漁業集落による活動が活発に行われ、柱島漁協の活性化に向けたパンフレットを作成した。
	稚魚等放流事業	稚魚の放流による栽培漁業を推進させ、水産資源を管理する。	漁業者と協力して、放流量や場所等を調整し計画的に実施する。	各漁業協同組合とよく調整し、有用魚種の稚魚を計画的に放流できた。
漁港施設の整備をする。	新港船溜り改修事業	老朽化が進んでいる新港船溜りの船揚施設を改修し、安全性及び利便性の向上を図る。	特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施する。	交付金により令和元年度に設計業務、本年度に工事を実施し事業が完了した。
	通津漁港水産物供給基盤機能保全事業	通津漁港の老朽化した物揚げ場護岸を整備し、漁業者の安心・安全な施設利用を図る。	水産物供給基盤機能保全事業補助金により実施する。	補助金により令和2年度から継続事業として実施し、本年度で事業が完了した。
自然環境を保全する。	水産多面的機能発揮事業	漁業者による干潟や河川の保全活動により、水辺の多面的機能の効果を効率的に発揮させる。	水産多面的機能発揮対策事業費補助金を活動グループに支給する支援を行う。	活動グループと意思疎通を図り、支援や指導により干潟の機能は向上した。また、講習会に参加し、活動の取り組みを発表した。
	漁場環境保全創造事業	海底清掃を実施し、漁場環境を保全する。	関係漁協へ委託して実施する。	各漁業協同組合とよく調整し、予定通り清掃を実施することができ、漁場に堆積したごみを回収できた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

建設部

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 内坂 武彦

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要な施設の整備や施設の適切な維持管理に取り組みます。

道路 課 設定者 道路 課長 坂本 剛

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
楠中津線などの幹線道路の整備に努める。	楠中津線等幹線道路整備事業	楠中津線の第1工区の延長790mについて、令和8年度の完成を目指す。	楠中津線(第1工区、L=790m)の工事を進める。	令和3年度に工事着手しているが、4年度工事についても、先行する占用物件埋設工事の完了後に順次工事に着手しており、計画どおり進捗している。
主に生活道路として利用される市道の整備を進める。	市道(生活道路)整備改良事業	市道の改良率を毎年0.1%(約1.5km)向上させる。	狭あいな市道を4m以上に拡幅改良する。また、民間の開発行為を適切に指導し、良好な市道を構築する。	地権者の協力を得て適切な用地交渉を実施し拡幅改良を実施した。また、民間の開発行為による帰属を適切に審査指導し、微増であるが増加した。 令和3年度 58.94% 令和4年度 58.97% (910m増)
通学路危険箇所の安全対策を実施する。	交通安全施設整備事業	通学路合同パトロールの要望箇所を10箇所実施する。	通学路の改善要望箇所について、地域の実情を踏まえた効率的、効果的な安全対策を実施する。	市内の改善要望箇所のうち、優先度の高い9箇所について対策が完了しており、2箇所の歩道整備事業について設計業務に着手した。
橋りょう等の安全性と利便性を向上させるために長寿命化及び耐震補強を実施する。	橋りょうの長寿命化事業及び耐震補強事業	橋りょうの点検結果に基づき、修繕・補強を10橋実施する。	長寿命化修繕計画等に沿って、緊急性、重要性の高い橋りょうから長寿命化事業及び耐震補強事業を実施する。	橋の重要度、損傷の程度などを考慮し、優先順位の高い橋梁から修繕を進めており、小規模橋梁の進捗が進んだことから目標値を達成している。 完成件数 令和3年度 8橋 令和4年度 14橋(事業継続中が7橋)

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

建設部

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 内坂 武彦

安心・安全な日常生活が送れる生活環境を構築するため、必要な施設の整備や施設の適切な維持管理に取組ます。

河川課 設定者 河川課長 土井 浩義

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
土砂災害防止に向けた対策の推進と啓発活動	土砂災害警戒区域等の周知と急傾斜地崩壊対策事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への警戒区域の周知</li> <li>・対策事業に関する事前説明会</li> <li>・対策事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや広報による情報提供の継続</li> <li>・個別説明会の開催</li> <li>・小規模急傾斜地崩壊対策事業等の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや広報による情報提供の実施</li> <li>・個別説明会の実施</li> <li>・小規模急傾斜地崩壊対策事業等の実施中</li> </ul>
雨水排水路の整備	雨水排水等排水路整備による浸水対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水路の計画的改修</li> <li>・浸水常習地区の対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛野谷地区、愛宕地区、楠地区、楠・中津地区、多田地区及び錦見地区の排水路整備</li> <li>・横山地区及び南岩国町一丁目地区の浸水対策策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛野谷地区、愛宕地区、楠地区、楠・中津地区、多田地区及び錦見地区の排水路整備実施中</li> <li>・横山地区及び南岩国町一丁目地区の浸水対策策定実施中</li> </ul>
浸水被害軽減のための浚渫や河川改修	浸水被害を防ぐための排水対策事業の推進	準用、普通河川の能力不足の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急浚渫推進事業の推進</li> <li>・緊急自然災害防止対策事業の推進</li> <li>・河川改修の計画的実施</li> <li>・過年災害復旧工事の早期完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急浚渫推進事業は計画的に実施中</li> <li>・緊急自然災害防止対策事業は計画的に実施中</li> <li>・河川改修は計画的実施中</li> <li>・過年災害復旧工事は完成済</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

建設部

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 内坂 武彦

安心・安全な日常生活が担保された生活環境を構築するため、必要とされる施設の整備を行う。

下水道課 設定者 下水道課長 片野 光一

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
効率的な汚水処理構想を構築し、下水道普及率の向上と下水道施設の適切な維持管理を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的な汚水処理構想を構築する。</li> <li>計画的な工事発注に努める。</li> <li>工事及び維持管理は安全を第一に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道処理人口の処理率を年間0.5%向上させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家屋の密集地又は人口の密集地域から優先して工事発注する。</li> <li>工事の施工は、施工計画を充実させて安全を第一に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家屋が密集しているひまわり団地の接続が完了</li> <li>下水道処理人口処理率は0.5%の目標に対して、0.3%向上</li> </ul>
人口密集地の浸水対策を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水調整槽の整備を行う。</li> <li>工事は安全を第一に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所前及び山手地区に雨水調整槽を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事着手までに関係部署と調整を完了し、施工計画を充実させて安全に工事を進め、雨水調整槽を完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に留意し工期内に雨水調整槽を完成させた。</li> </ul>
経費節減に努め、下水道事業の健全な経営を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な事務処理を行う。</li> <li>適切な予算編成と適正な会計処理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>監査からの指摘がないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当者任せにせず、承認者全員がチェックする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会計処理は正確且つ適正に処理している。</li> </ul>
下水道使用料の収納率の向上と不納欠損額の減額を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道料金徴収一元化に伴う円滑な徴収事務に努める。</li> <li>滞納整理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収納率を前年度より上げる。</li> <li>上下水道料金の同時徴収の状況を見ながら滞納整理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道局職員と調整を図りながら利用者の理解が得られるよう説得する。</li> <li>電話での催告を行う。</li> <li>納付誓約をとる。</li> <li>差押えを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下水道料金の一元化は、水道局と連携して円滑に徴収が行えている。</li> <li>滞納整理は計画的に対応している。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

建設部

建設部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 建設部長 内坂 武彦

安心・安全な日常生活が担保された生活環境を構築するため、必要とされる施設の整備を行う。

都市排水施設課 設定者 都市排水施設課長 瀬戸 正義

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
下水道施設のストック・マネジメント計画を基にした改築の推進をはかる。	ストック・マネジメント計画の改築事業計画に沿った事業の実施。	改築を推進することによって、ライフサイクルコストの縮減を図る。	社会資本総合整備計画に沿った事業の進捗管理。	ストック・マネジメント計画の改築計画に沿って整備を進めることが出来た。
装束・川下・横山地区のポンプ場整備を計画的に進める。	土木・建築・機械・電気等各工事の進捗状況を把握し計画的に工事を進める。	装束・令和5年度、川下・令和12年度、横山・令和11年度完成をめざしている。	それぞれのポンプ場の完成目標に沿った年次計画を基に事業の進捗の管理。	装束地区においては、コロナの影響により、部品納入が遅れ、年度内の完成が出来なかった。川下・横山地区においては、順調に整備を進めることが出来た。
雨水ポンプ施設の維持管理・改築・修繕を行い、施設の最適化を図る。	年次点検等の結果に基づき施設の改築・修繕を進める。	老朽化の進んだ河川ポンプ場の優先度の沿った改築計画を作成する。	それぞれのポンプ場の完成目標に沿った年次計画を基に事業の進捗の管理。	緊急自然災害防止対策事業によって、老朽化の進んだポンプ場の改修を改築計画に沿って順調に進めることが出来た。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山中 文寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

都市計画課 設定者 都市計画課長 長谷 倫孝

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
幹線道路の事業進捗率を毎年増加させる。	岩国大竹道路及び藤生長野バイパス(岩国南バイパス南伸)の幹線道路の早期整備促進	岩国大竹道路及び藤生長野バイパス(岩国南バイパス南伸)の早期完成に向け、国の幹線道路整備予算が計上され事業進捗がみられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期整備等に向け、国土交通省等の関係機関に要望を行う。</li> <li>事業の進捗に向け、随時行われる各種調査・協議等について、県等の関係機関とも連携のうえ適切に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期整備に向け、国土交通省等の関係機関への要望活動を実施した。</li> <li>岩国・大竹道路は、室の木IC、岩国トンネルの工事等が進捗しており、藤生長野バイパスは、用地交渉に向けての準備作業が実施されており、令和5年度中には用地交渉に入る見込みとなっている。</li> </ul>
地域特性を活かしたまちづくり計画を作成する。	土地区画整理事業見直し計画策定事業	<p>西岩国駅前については、まちづくり協議会を設立し、土地区画整理事業に代わるまちづくり整備計画を住民とともに策定する。</p> <p>南岩国駅前については、都市構造再編集中支援事業を実施し、土地区画整理事業に代わるまちづくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西岩国駅前については、住民等が、まちづくり計画を考える場として、まちづくり協議会を設立できるよう支援する。</li> <li>南岩国駅前については、意見交換会等により、住民の意見を聞きながら、まちづくりの構想を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西岩国駅前については、まちづくり協議会設立準備会を9回開催するとともに、勉強会を8回実施した。</li> <li>南岩国駅前については、意見交換会を2回開催し、整備計画案の取りまとめを行った。</li> </ul>
予測される都市構造の変化に対応したまちづくりの計画を行う。	予測される都市構造の変化に対応した都市計画の推進を行う。	計画決定当時から社会情勢が大きく変化する中、都市計画道路等の都市計画施設の必要性や実現性を適正に評価し、事業の推進又は都市計画の見直しを図りつつ、立地適正化計画を推進し、持続可能なまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画道路等の都市計画施設の見直しに向けて関係機関との協議・調整を進め、必要に応じて、廃止の手続きを進める。</li> <li>立地適正化計画を推進するため、防災指針の策定を踏まえた計画の改定に向け取組を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との協議・調整を行い、岩国停車場装束線の変更に向け、都市計画手続きを進めた。</li> <li>立地適正化計画を推進するため、防災指針の策定を踏まえた計画の改定に向け、現状・課題分析の取組を進めた。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山中 文寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

公園景観課 設定者 公園景観課長 倉橋 幸夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
人々が集い安らぎのある公園緑地を整備推進する。	・長寿命化計画に基づいた公園施設の改修・更新の推進 ・市民のニーズに沿った公園施設整備の推進	市民のニーズを把握し、長寿命化計画に基づいて人々が安心して利用できる公園施設を整備する。	老朽化した公園施設の改修・更新工事を、6か所の公園で実施する。	公園施設の改修・更新工事として、7箇所公園を実施し、その他新規の公園整備や健康づくり施設整備も実施した。
安心・安全で快適な公園緑地の維持管理を推進する。	公園、緑地などの状況を正確に把握するとともに、より効率的な維持管理を目指す。	地元要望、利用状況、施設の状況、緊急性など考慮し、優先順位を定め計画的に実施する。	ふくろう公園をはじめ、都市公園等の適正な維持管理を行い、予算配分等考慮しながら目標の80%以上を実施する。	地元要望の強いものや緊急性の高いものについて、概ね実施できた。 ふくろう公園をはじめとする都市公園の植栽管理や施設維持について、概ね計画通りに達成できた。
良好な景観の形成に向けた景観まちづくりを推進する。	景観形成事業補助金の活用推進	歴史的建築物やまちなみを保全するとともに、周囲の歴史的なまちなみと調和した建築物が建てられ、良好な景観が形成される。	修繕対象物件所有者に対して、補助制度の資料パンフを郵送し、所有者の理解を深めて、横山・岩国重点地区の修景・修繕助成を12件以上行う。	修繕対象物件所有者に左記資料を9月に全件郵送し、重点地区の修景・修繕助成を21件行うことができた。
駐車場・駐輪場の改修及び維持管理を推進する。	各施設の計画的な改修を行いながら、効率的な活用を図る。	駐車場基金の残高を見極めながら、駐車場の改修を優先度の高いものから順に行っていく。	・原動機付自転車駐車場等を整備し、供用を開始する。 ・麻里布駐車場の監視カメラを更新する。	岩国駅西口原動機付自転車駐車場の供用開始に続き、三笠橋駐車場で自動二輪車及び原動機付自転車の駐車の受け入れを開始した。また、麻里布駐車場の監視カメラを更新した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山中 文寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

拠点整備推進課 設定者 拠点整備推進課長 兼田 義浩

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒磯地区における福祉・科学学習施設を核として、ふれあい交流施設・自然交流施設・健康増進施設を配置した総合的な福祉・交流拠点となる「いこいと学びの交流テラス」を整備する。</li> <li>・黒磯地区アクセス道路の整備を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に策定した実施計画に基づき、建築等の詳細設計を実施する。</li> <li>・令和2年度に策定した土木設計に基づき、造成ほか土木工事を実施する。</li> <li>・アクセス道路の整備を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築等の詳細設計については、令和4年度内の完成を目指す。</li> <li>・造成ほか土木工事については、令和5年度内に一部完成を目指す。</li> <li>・アクセス道路の整備を進めるなかで、測量・地質調査・詳細設計を行い、令和4年度の完成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築等の詳細設計については、庁内関係部署、関係機関と調整を図るとともに、インシャルコスト・ランニングコストの削減に努める。</li> <li>・造成ほか土木工事については、周辺住民等へ工程や施工段階等をお知らせを行い、周辺環境対策に配慮しながら実施する。</li> <li>・地区周辺の業務等において、周辺住民の声に耳を傾けながら、必要に応じて迅速かつ柔軟に対応し、業務を遂行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築等の詳細設計において、定例会議等により庁内関係部署や関係機関と調整を図りながら、インシャルコスト・ランニングコストの削減に努めて令和4年度の完成に取り組んでいる。</li> <li>・造成ほか土木工事において、工程や施工段階等を近隣へお知らせ・周知を行い、周辺環境の対策を講じながら、安全に施工を進めている。</li> <li>・区域周辺の草刈り等の環境対策も適宜実施した。</li> </ul>
<p>城下町地区における「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを目指し、新たな人の流れを生み、地区の賑わいにつなげていくため、景観に即した観光駐車場を整備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度に実施した駐車場整備・急傾斜地安全対策の詳細設計に基づき、工事を実施する。</li> <li>・事業用地を適切に管理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地安全対策については、令和5年度内の完成を目指す。</li> <li>・駐車場整備については、令和5年度内の完成を目指す。</li> <li>・事業用地の管理において、周辺環境対策に配慮し、適切な対応を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地安全対策については、関係部署と調整・景観への配慮をしながら安全対策や周辺環境対策を講じて実施する。</li> <li>・駐車場整備については、関係部署と調整・景観への配慮をしながら安全対策や周辺環境対策を講じて実施する。</li> <li>・事業用地の管理において、土砂流出防止や草刈り等の周辺環境対策を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地対策工事については、関係部署と調整し、景観への配慮をしながら文化庁等への手続きを行い、工事の進捗を図っている。</li> <li>・駐車場整備については、関係部署と調整を図りながら、運用の整備内容を確認して景観対応、周辺の環境対策を講じていく。</li> <li>・事業用地の周辺環境対策については、工事の実施と共に、周辺環境対策も継続していく。</li> </ul>
<p>城下町地区における官民協働によるまちづくりを推進する。</p>	<p>令和元年度に作成した「城下町地区ランドデザイン」の推進により、まちづくりへの取り組みを進めていく。</p>	<p>ランドデザインに基づく推進体制により、PDCAサイクルを適切にマネジメントしていくことで、官民協働のまちづくりの推進を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりへの取り組みが円滑に進むように、地域との意見交換会や庁内プロジェクトチーム会議等を随時実施する。</li> <li>・将来のまちづくり協議会発足に向けた準備会の設立等について、側面的な支援を行いながら、地域住民主導型のまちづくりへの転換に向けた機運の熟成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城下町地区のまちづくりでは、庁内のプロジェクトチームの会議等を実施し、情報共有に努めつつ、事業の連携を図った。</li> <li>・地区内の意見交換会や勉強会を開催し、地元自治会・地元経済団体等、地域住民も含めた情報共有にも努めた。</li> </ul>

<p>川下地区における官民協働によるまちづくりを推進する。</p>	<p>住民主導による川下地区のまちづくりを推進するための活動支援や平成24年度に作成した川下地区まちづくり整備計画の見直しを行う。</p>	<p>見直しされた川下地区まちづくり計画について、所管課の整備計画との調整を行い、川下地区まちづくり整備計画の更新を行う。</p>	<p>まちづくり協議会から提出された計画に基づき、庁内の関係所管課の取りまとめを行うとともに、新たな川下地区まちづくり整備計画の見直しを行う。</p>	<p>・まちづくり協議会により「川下地区まちづくり計画」が提出され、その計画に伴い、庁内の関係部署と調整を行い「川下地区まちづくり整備計画」の見直しを進めていく。</p>
-----------------------------------	---	---	---	---

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山中 文寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

中心市街地整備課 設定者 中心市街地整備課長 村重 総一

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
事業所数の増加と空き店舗率の改善	中心市街地活性化対策事業	令和6年度に岩国駅周辺商店街通りの事業所数230店舗、本通商店街・中通り商店街・中央通り商店街の空き店舗率12.2%の達成目標を目指す。	空き店舗などの遊休不動産や既存店舗を魅力ある店舗、施設として再生するための費用の一部を助成する。	昨年より、コロナ禍の中でも感染予防を徹底した上で出店する事業所が増加したことから、事業数は増え、空き店舗率は減った。
岩国駅前南地区市街地再開発事業の推進	岩国駅周辺再開発事業	準備組合が令和4年度中に再開発組合設立と事業の認可を受けること。	準備組合が立案する事業計画への指導や関係機関との事前調整などの支援を行う。	準備組合が令和5年2月24日付けで組合の設立認可を受けることができたが、事業計画については、令和5年度に認可を受けることとなった。
岩国駅前南地区市街地再開発事業の推進	岩国駅周辺にぎわい創出施設整備事業	再開発事業スケジュールに合わせて図書館機能を核としたにぎわい創出施設の整備を目指す。	にぎわい創出施設整備に向けた実施計画を策定する。	再開発事業と調整をとりながら、実施計画を策定した。
南岩国駅前広場等の整備による交通結節点の機能強化及び利便性の	南岩国駅周辺整備事業	令和5年度中の駅前広場等の完成を目指す。	駅前広場及び駐輪場の整備を実施する。	令和5年度中の完成に向け、必要用地を取得し、駅前広場整備等の工事に着手した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山中 文寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

建築指導課 設定者 建築指導課長 坂上 千晶

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安全な宅地の形成や開発行為による良好な市街地の形成を図る。	都市計画法、宅地造成等規制法の適正かつ的確な審査・検査を行うとともに、盛土造成宅地の耐震化の促進に努める。	法令遵守を的確に指導対応を行うことで、安全で良好なまちづくりに繋がる。	開発許可、宅地造成許可において、適用基準の遵守を指導する。また、宅地耐震化推進事業を着実に進めていく。	開発許可、宅地造成許可について、適正な審査を実施するとともに、宅地耐震化推進事業の二次スクリーニング計画における調査を18か所実施した。
建築物の建築及び既存建築物の維持保全等において、安全性や住環境の向上を図る。	建築基準法、建築物省エネ法等、長期優良住宅法等の適正かつ的確な審査・検査業務を行うとともに既存建築物の維持保全を図る。また、耐震改修促進法に基づき建築物の耐震化の促進に取り組む。	関係する法令遵守を確実に実施するよう指導対応することで、安全で快適な建築物の住環境が図れるとともに、持続可能な環境の構築に繋がっていく。	建築確認や許可、省エネ適合判定や届出、低炭素建築物認定、長期優良住宅認定等の審査・検査を適用規定の看過や誤認が無いよう、法令遵守を指導する。	建築確認や許可を適正に審査するとともに、長期優良住宅法や建築物省エネ法等の改正について条例改正を遅滞なく行い、法令遵守の周知徹底を図った。
専門分野(土木・建築)における知識の習得等、技術力の向上を継続的に取り組む。	職種や職位にあった各種研修の積極的な受講推進や資格取得に向けた学習を支援する。	職員全体で資格取得や技術力の向上に継続的に取り組むことで、安定的な人材確保と変動する技術進化に伴う高い専門性に対応できる。	国土交通大学校や全国建設研修センターの機関が実施する高度な研修を、計画的に継続して受講する。また、ブロック会議等の議題検討など、主体的に意見をもって参画する。	国土交通大学校や全国建設研修センター等の実施する研修に参加し、職員のスキルアップに努め、技術力の向上を図った。
各種申請や届出において、的確かつ迅速な行政サービスの提供。	質の高い相談対応が適宜行えるよう情報共有、各分野との連携を図る。	対応や指示・指導の食い違いや手戻りがなく、相談者の満足する行政サービスが提供できるようになる。	相談内容やその対応等を課内で情報共有を図り、逐次確認し、必要に応じて修正対応等を速やかに対処する。	相談や照会事項について、情報共有を図り、適宜、必要に応じて協議対応を迅速に行った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

都市開発部

都市開発部の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 都市開発部長 山中 文寿

都市と自然が共生し、市民が集い、行きかい、安心して暮らせる未来都市づくりを推進します。

建築住宅課 設定者 建築住宅課長 岡原 達也

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
職員個々が高い目標意識をもって、公共施設マネジメントによる計画的な施設更新に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の計画的な保全や改修を図る。</li> <li>従事する職員の人材育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期の市民サービスに耐え得る良好な施設の整備を行う。</li> <li>職員は、専門的な知識、技術の習得のため、研修・講習を積極的に受講する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり実施計画等に則り、営繕・環境整備を推進する。</li> <li>職員は技術力の向上を目指し、技術研修等の受講や資格取得に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校トイレ整備</li> <li>街区公園等トイレ整備</li> <li>わかば保育園外構整備</li> <li>ふれあい交流館西岩国整備</li> <li>新港船溜り船揚施設整備</li> <li>建築士指定講習 2名</li> <li>その他技術講習 30件</li> <li>一級建築士(学科) 1名</li> <li>建築物石綿含有建材調査者 2名</li> <li>消防設備士乙種7類 1名</li> <li>消防設備士甲種1類 1名</li> <li>第二種電気工事士 1名</li> </ul>
耐震化の促進及び省エネ、低炭素などに配慮した住環境の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築物の耐震化の推進を図る。</li> <li>省エネ、低炭素などに配慮した設備等の推進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市有施設及び民間建物の耐震化を推進する。</li> <li>省エネや、低炭素に配慮した設備等の導入に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物の耐震化と長寿命化を図る。</li> <li>省エネや、バリアフリー、低炭素に配慮した建物環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営住宅バリアフリー化 4件</li> <li>市営住宅外壁改修 2件</li> <li>市営住宅埋設ガス管改修 2件</li> <li>民間住宅耐震診断 16件</li> <li>民間住宅耐震改修 1件</li> <li>民間住宅ブロック塀除去 7件</li> </ul>
空き家対策及び公営住宅の適正な管理に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽空き家の抑制等を図る。</li> <li>公営住宅の適正な管理や指定管理による住民サービスの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家の所有者に対し、情報提供及び指導助言など啓発に努める。</li> <li>民間のノウハウの活用によりサービスの向上を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>空き家等に関するセミナー・相談会の開催。</li> <li>長寿命化計画による公営住宅の計画的な修繕・改善。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生前整理セミナー開催 3会場</li> <li>老朽危険空き家除却 3件</li> <li>市営住宅沖原団地統合建替え第1棟完成</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

由宇総合支所

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 塩中 京子

市民の声を大切にしながら、地域の課題をともに解決し、住みやすいまちづくりに取り組みます。

地域振興課 設定者 地域振興課長 上田 勝久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
自治会と協働による事業	自治会連合会と連携して市民活動を支援する。	自治会内のコミュニケーションの場を増やすため各地域での活動を支援する。	活用できる制度等の提案をする。	自治会で使える助成事業等を説明し、自治会活動の活性化を図った。コロナ禍ではあるが昨年に比べ活動が増えている。
災害時の逃げ遅れ者ゼロに向けた自主防災組織の強化、活性化を進める。	・活動が停止している自主防災組織の再構築 ・自主防災組織を起点にして住民へ安全な避難行動の周知	・活動停止の自主防災組織を再結成させる。 ・早期に避難行動を起こす住民の増加	・第1分団地区自主防災会傘下の自治会に対して再結成支援の実施 ・早期避難の重要性と避難カード作成の研修を各自主防災会で行い、各世帯で避難カードの作成を促進する。 ・防災ラジオの普及を促進する。	・5月28日に千鳥ヶ丘3自治会の会長と意見交換をして働きかけを行ったが、自治会内の協議が難しく、自主防災組織結成までには至らなかった。 ・避難カードについては様式や説明資料の作成に時間が掛かり、1つの自治会の班でしか展開できなかった。
消防団の充実を推進する。	コロナ下における消防訓練の充実	火災・災害発生時の即応体制の維持強化	年1回の方面隊訓練、各分団で火災最先着隊を想定した放水要領の訓練の協力	11月13日実施の方面隊訓練で複数分団が連携した火災初動対応訓練を実施し、分団間の連携の重要性を認識してもらうことができた。
住宅環境の改善を推進する。	住宅環境改善支援事業(県事業)の推進	事業利用者を増やすことで、より快適な住環境を整える。	住宅環境改善支援事業(県事業)の周知を実施するとともに、相談受付事務を円滑に進める。	年度当初に案内チラシを広報と同時配布した結果、前年度比5倍強の279件を受付した。 円滑な相談受付事務を目指して受付マニュアルを整備したが、その運用に苦慮した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

由宇総合支所

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 塩中 京子

市民の声を大切にしながら、地域の課題をともに解決し、住みやすいまちづくりに取り組みます。

市民福祉課課 設定者 課長 村重 典則

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
来所者が満足・信頼できる 接遇・保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所者への挨拶の励行と声掛け</li> <li>来所者目線に沿ったサービスの提供</li> <li>個人情報保守</li> <li>マイナンバーの厳格な取り扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所者が満足できるサービスが受けられる。</li> <li>市民が安心安全に暮らせる。</li> <li>班単位で業務を行うのではなく、全課員で対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所者には、速やかに挨拶をし、声掛けを行い、要件を把握する。</li> <li>来所者の目線に立って、解りやすく端的に説明をする。</li> <li>証明書や申請書等の個人情報が記載されているものを交付等する際には、内容を確認していただく。</li> <li>マイナンバーが記載されているものは、必要性の有無を確認する。</li> <li>機会あるごとに反省することは話し合い、改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来所されたお客様に対し、常に挨拶をし、声掛けを行うことで、速やかに各々の窓口へ案内し要件を把握することができた。また、来所者多数の場合は、番号札を取ってお待ちいただくようにご案内し、順番に対応することができた。</li> <li>個人情報の記載されたものを発行する際には、申請者様にも内容を確認していただくことで、誤交付等の防止ができた。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

由宇総合支所

由宇総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 由宇総合支所長 塩中 京子

市民の声を大切にしながら、地域の課題をともに解決し、住みやすいまちづくりに取り組みます。

農林建設課 設定者 農林建設課長 岡崎 勝則

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域住民や各種団体と協働して、公共施設の利便性向上とコスト削減を図る。	市民協働による市道及び公園の維持管理の実施。	生活道路及び公園について、市民と協働して継続的かつ適切な維持管理を実施する。	自治会単位で自主的に地域の公共施設の草刈り及び清掃等の実施を定期化し継続する。	自治会に地域の公共施設の草刈りや清掃を引き続きお願いし、刈り取った草等は職員で回収し、自治会での作業が難しい部分については職員で行い、コスト削減を行った。
市民の多様なニーズに対し、効率的でスピード感のある対応による市民サービスを提供する。	課全体が、積極的な協力体制と行動力を持つ。	生活道路や公園が安心・安全に利用できる。 有害鳥獣による農林水産物等への被害を防止する。	公共施設の定期パトロールにより不具合の早期発見と維持補修を行い、市民からの情報があれば速やかに現地確認し処理する。 猟友会と協力し、有害鳥獣の駆除に取り組むとともに、対策補助制度や捕獲方法等の周知と利用促進を図る。	公共施設の定期パトロールを行い、維持補修を速やかに行うことで、施設を安心・安全に利用できる状態を保てた。 有害鳥獣については、小型箱罠を希望者に貸し出し、駆除することで農作物への被害を軽減した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中原 健登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

地域振興課 設定者 地域振興課長 岩崎 幸子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域住民の自主防災に対する意識を高める。	防災行政無線個別受信機設置等情報伝達手段の周知	防災行政無線個別受信機設置数の増 各地域で開催される研修会への講師派遣	各種研修会等の機会を捉えて、防災ラジオの設置や、市民メール等の情報伝達手段の周知、防災講話の実施。	自主防災組織等の研修会はコロナ禍により中止となったが、その他研修等を捉えて、防災ラジオの設置、市民メールやLINE登録等情報伝達手段の周知、活用について推進した。登録が困難な高齢者等については、必要に応じて丁寧に対応した。
地域交通の利便性向上	地域内生活交通バスの利便性向上に向けた取組	市民からの要望などを参考に、地域の状況に沿った運用への見直し検討を行う。	・日曜運行の実証運行に向けた調整、実施。実証運行による今後の方針の検討。 ・運行経路の変更等地域からの要望に対する検討、調整。	・R4. 10月～R5. 3月計23日間の予定で日曜実証運行を実施。利用者アンケートでは、約7割が本格運行を希望されたが、利用者数は伸びなかった。期間中、コロナ第8波によるイベント中止や寒波等により運行条件が悪かったことから、R5. 4月～9月について期間延長し、再度検証を行うこととした。 ・ルート変更を伴う停留所新設の要望について、調査検討を行い要望の沿った対応をした。
自治会及び地域との連携	自治会、地域等の活動の支援	各地域への情報発信	・地域で活用できる制度等の提案 ・自治会との情報共有	新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会連合会総会は書面開催及び研修会は中止となったが、活用できる制度の説明などを冊子により自治会へ配布するなど情報発信に努めた。 理事会は感染対策に配慮して3回開催し、意見交換や情報共有に努めた。
	地域おこし協力隊活動の推進、連携	協力隊員の活動と地域住民・団体との交流推進	・協力隊員の地域活性化等に向けた取り組みへの支援、連携、情報共有	令和4年度において祖生地域に集落支援員と地域おこし協力隊が配置された。支援員及び協力隊員と地域住民、団体との交流がスムーズに行えるよう、祖生出張所と連携して取り組んでいる。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中原 健登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

市民福祉課 設定者 市民福祉課長 松ノ木 宏

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民満足度の向上につながる接遇と適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>質の高い市民サービスの提供</li> <li>職員間での情報の共有、関係機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民にとって最も身近な市役所窓口で、市民が満足する行政サービスを受けられる。</li> <li>職員間の情報共有、関係機関との連携により、的確かつ迅速な対応を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔で丁寧で優しい接客をする。</li> <li>通路・窓口の来庁者へ注意を向け、率先して声掛けを行う。</li> <li>担当業務の制度を理解し、市民にわかりやすく説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来庁者へ意識して声掛け、丁寧な対応に努めた。マイナンバーカード関連の業務では待ち時間が長くなってしまいご迷惑をおかけした。</li> </ul>
市民、各種団体、関係機関と連携して生活環境の保全や環境美化を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内一斉清掃等の清掃活動、不法投棄廃棄物への対応など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境の保全、環境美化の推進</li> <li>不法投棄パトロールの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民、各種団体の協力や情報提供等により実施。</li> <li>定期的な不法投棄パトロール、週2回(月・木)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染防止の観点から一斉清掃は中止となった。個別の清掃活動に対して支援、不法投棄廃棄物への対応に努めた。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中原 健登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

農林課 設定者 農林課長 若林 敏彦

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
周東食肉センター及び食肉流通センターの安定的な運営と適切な維持管理に努め、安心・安全な食肉の供給を図る。	・両施設の機器点検整備及び衛生管理を徹底しブランド化を推進する。 ・食肉流通センター及び汚水処理施設の建替を考慮し、調査を行	・安定的な運営と安心安全な食肉の供給 ・周囲の環境に配慮した施設運営に努める。	・機器の日常点検、定期点検を確実に行うことはもとより、ハサップに基づく衛生管理を徹底する。 ・施設の老朽化に伴い食肉流通センター、汚水処理施設の改修計画を調査する。	周東食肉センターについては、日頃の点検を確実に行ったことで、施設使用停止に至るような大きなトラブルが発生することなく、安心・安全な食を安定的に提供することに努めた。周東食肉流通センターについては、コンサル業者に業務委託を行い、センターの今後についてを考えるうえでの基礎資料を作成できた。
所管する施設の安全対策を徹底し利用促進を図る。	・所管公共施設の維持管理業務の実施	・常に安全に安心して利用できるような管理し、利用者の目線での維持に努める。	・住民からの要望等に合わせ、計画的に施設維持・整備を行う。	所管施設において、適切な維持管理を行ったことで、施設利用においては、安全確保および利用促進に一定の成果が得られた。
農林業の新規就農者、担い手の確保・育成を支援し、地域農業の衰退を防止する。	・農林業者及び農業各種団体との意見交換や連携により、求められている施策の検討・実施	・農地、山林の荒廃化の防止に努める ・農業経営の安定を図るため、諸施策の活用を推進する。 ・農林産物への有害鳥獣による被害防止に努める。	・人・農地プランで定めた中心経営体と連携を図る。 ・畜産農家との情報共有を図る。 ・猟友会、捕獲隊と連携し、有害鳥獣対策を実施し、被害を最小限に抑える。	就農相談や新規就農希望者の掘り起こしを実施し、また、毎月定期的に関係機関と連携、情報共有をし、就農活動を支援した。有害鳥獣対策については、豚熱の影響もあり、本年度は例年と比較して駆除頭数は圧倒的に少なかったが、捕獲隊、猟友会等と連携して速やかに対応できた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中原 健登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組めます。

建設課 設定者 建設課長 森本 真史

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
防災の観点を含め、当課が所管する市道や河川の維持管理を適切に行うことにより、安心・安全な住環境の保持に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道や河川の維持管理</li> <li>市道や河川の緊急時対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道や河川等のパトロールを計画的に行い、適切な維持管理に努めます。</li> <li>また、市民からの要望等に対して迅速に対応し、問題解決に取り組めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道や河川等のパトロールを月2回以上実施し、応急的な対応が必要な場合は迅速に対応します。</li> <li>異常気象後は速やかにパトロールを実施し施設の機能保全に努めます。</li> </ul>	当課所管の市道、河川について、確実なパトロールや寄せられる要望等の対応により、人的事故の発生を防ぐ事が出来た。
当課所管の下水道(集落排水、特定排水)や公園など施設の維持管理を適切に行うことにより、住み良い環境づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道(集落排水、特定排水)の維持管理</li> <li>公園施設の維持管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道施設について緊急対応可能な体制を維持します。</li> <li>公園の遊具や設備の点検を計画的に行い、適切な維持管理に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下水道マンホールポンプ等において緊急な対応が必要な場合は、迅速に対応します。</li> <li>公園の遊具等の点検を3か月に1回以上実施し、緊急的な対応が必要な場合は迅速に対応します。</li> </ul>	マンホールポンプ等の下水道施設や公園施設の管理については、発生する異常に対し、迅速・適正に対応出来た。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

周東総合支所

周東総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 周東総合支所長 中原 健登

住民目線でのサービスの提供を基軸として地域課題に柔軟に対応し、市民との協働による安心・安全な住み良い環境をつくるため、横断的に取り組みます。

玖珂支所 設定者 支所長 藤本 慎司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域の防災リーダーとなる防災士等を新たに1名以上養成し、主体となって研修会などを行うことで、地域住民の防災意識を高め安心安全の向上を図る。	防災士、防災アドバイザーの養成支援	防災士や防災アドバイザーとしての知識と技能の習得を支援し、防災士等を中心とした地域の自主防災活動を推進していく。	①地区防災組織と防災士等養成に向けた協議 ②防災士等養成講座受講者の選考支援 ③防災士等養成講座の受講	防災に対する知識と技能の習得のため、防災士養成講座を3名が受講した。
	防災教育研修会等の開催支援	防災士等を中心とした防災教育研修について、小・中学生等を対象として開催し、防災・減災に対する意識づけを行い、防災意識の向上を図る。 また、地域住民に対し災害発生時における互助、共助の緊急対応ができるよう、防災に関する体験イベントを開催する。	①実施計画提案 ②防災教育の内容の決定 ③防災教育の実施支援 ④防災教育に対する評価助言	玖珂幼稚園(10人)、玖珂小学校(92人)、玖珂中学校(96人)を対象に防災教育研修会を開催、各単位自治会(89人)を対象に自主防災リーダー研修会を開催し、防災に対する意識の向上を図った。
支所窓口で案内待ちの来客を減少させ、住民目線でのサービスの提供を基軸とした接遇を実践する。	接遇の向上推進	支所窓口での来客に対する意識づけを行うとともに、案内待ちが無いよう積極的に声掛け等実施する。 また、接遇研修等によりマナーを習得し、接遇の向上推進を図る。	①窓口で来客の導線の確認、誘導する案内板等の検証 ②接遇研修ビデオ等の活用した研修 ③問題点等の確認、検証、改善策の検討 ④改善策の実施	玖珂支所では窓口におけるワンストップサービスを心掛けており、各班で連携を図り業務を執り行っている。 接遇研修等に基づき、来客者に積極的に声掛け等をし、窓口業務を含め新施設の案内を円滑に実施した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

錦総合支所

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 的場 敏

都市や周辺地域との交流を図り、地域住民と協働し、笑顔で安心・安全に暮らし続けられるまちづくりを推進します。

地域振興課 設定者 地域振興課長 田中 英司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民が意欲をもってコミュニティ活動に参画し、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの推進	地域活動の支援と参加促進	地域づくりに関する事業件数の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や市民活動団体が地域づくりに参加する機会の提供</li> <li>集落支援員やDXによる地域課題への取組支援やコミュニティ活動の機運醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ささえ愛交付金事業を活用した地域づくりの件数は昨年度から2件減少、事業費では増額となった。</li> <li>自治会に対し集落支援員に関するアンケートを実施、回答内容から1地区で地域づくり支援に向けた現状把握を行った。</li> </ul>
地域団体と連携した体験交流事業の推進	体験交流の企画と誘致	交流人口の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>やましろ体験交流協議会と連携した体験型旅行の企画と誘致</li> <li>多様な結びつきや地域への愛着が生まれる交流事業の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに4件の体験企画を実施したが、修学旅行の受入がなく、昨年度から受入者が135名減少した。</li> <li>関東地区、県内高等学校などへの誘致活動を実施した。</li> </ul>
観光施設の適切な維持管理と、地域資源の魅力向上	観光施設を健全に運営できる環境の整備	観光施設への訪問者の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種事業を活用した施設整備</li> <li>施設有効活用策の検討</li> <li>地域おこし協力隊によるグリーンツーリズム等の情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光施設への訪問者が前年度同期との比較で26,507名増加した。</li> <li>地域おこし協力隊が協力隊通信やSNS等で地域情報を内外へ発信した。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

錦総合支所

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 的場 敏

都市や周辺地域との交流を図り、地域住民と協働し、笑顔で安心・安全に暮らし続けられるまちづくりを推進します。

市民福祉課 設定者 市民福祉課長 藤井 一嘉

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
<p>接遇能力及び事務処理能力の向上により来庁者が満足できる対応をする。</p>	<p>窓口対応マニュアル及び業務マニュアルの充実と共有</p>	<p>・来庁者のニーズを的確、迅速に判断し、担当班、担当者に引き継ぐ。 ・そのために課員が課内業務全般について把握している。</p>	<p>・来庁者に対する声掛けの意識を向上させる ・各班の業務マニュアル等は常に最新・最善の状態に維持し、班内・課内で共有する。 班内検討会(4月～3月) 課内検討会(10月～3月)</p>	<p>班を超えて来庁者への声掛けはできた。 業務マニュアルは、課員・班員が共有できる課内共有フォルダにまとめ、探しやすく使いやすいよう日々更新を重ねている。 来庁者の傾向からその時期に取り組むべき課題を推察し、各班内で共有。窓口でのコミュニケーションがうまくいこう、先回りして準備していた。</p>
<p>市民や関係機関等との折衝記録をわかりやすく整理して記録し、各班内で共有する。</p>	<p>各班内で情報共有できるファイル管理方法を研究し、整理活用する。</p>	<p>記録した情報を正確に引き継ぎ、いつでも誰でも速やかに活用できる。</p>	<p>取組中の案件や折衝記録を共有できる保管方法を研究し、整理活用する。 班内検討会(4月～3月) 課内検討会(10月～3月) 成果報告(12月～3月)</p>	<p>各班ごとに情報を共有できるファイルを活用している。これにより、担当者不在でも折衝中の記録を確認することができ、だれでも対応できるようにしている。</p>
<p>市民との信頼関係の構築</p>	<p>地域との協働の推進</p>	<p>課員と地域との協働意識が向上している。</p>	<p>市民や地域・関係機関等との連携を心がけ、市民の相談から地域等の課題の把握に努め、解消に取り組む。 ・課題や相談への対応(4月～3月) ・班・課内検討会(10月～3月) ・成果・結果報告(12月～3月)</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で地域行事がことごとく中止になり、協働の機会が少なかった。 関係機関や各種団体等との連携は積極的に行っている。</p>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

錦総合支所

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 的場 敏

都市や周辺地域との交流を図り、地域住民と協働し、笑顔で安心・安全に暮らし続けられるまちづくりを推進します。

農林建設課 設定者 農林建設課長 坂本 泰司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
・農地をはじめ集落環境が適切に管理されている。	・直接支払制度など農地維持制度の活用(生産者への支援) ・獣害防止制度を活用した被害軽減	・直接支払集落協定数が維持されている。 ・獣害防止事業が積極的に活用されている。	・農家へ支援事業の情報提供を適切に行う。 ・被害に対して農家や猟友会と連携して早期に対応する。	直接支払制度協定数は維持され、獣害防止事業も目標どおり活用されている。豚熱の影響からか作物被害が少なかった。
・道路はじめ生活インフラが利用しやすいよう管理されている。	・道路維持業務、下水道維持業務の適切な実施 ・簡易給水施設管理組合への適切なサポートの実施	・道路が支障なく通行できる。 ・上下水道にトラブルが発生しても早期に対応できる。	・地元自治会と連携した道路維持を実施する。 ・道路など施設のパトロールを定期的実施する。	台風や大雪の影響で災害が多く発生した。早期復旧に努めたが通行止めとなる市道もあった。
・交流施設利用者と地域の交流が盛んである。	・体験農園施設を中心とした交流事業の実施	・体験農園施設の利用率が向上する。 ・交流人口が増加する。	・空棟があれば早期に募集をかける。 ・施設利用者のサポート団体と連携し地域活性化に取り組む。	体験農園施設の利用率100%は達成できなかったが、退去者も出なかった。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

錦総合支所

錦総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 錦総合支所長 的場 敏

都市や周辺地域との交流を図り、地域住民と協働し、笑顔で安心・安全に暮らし続けられるまちづくりを推進します。

美川支所 設定者 美川支所長 森田 英司

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
市民の方に分かり易い窓口事務を提供するため、事務処理の改善件数を増加させる。	・市民福祉班内での連携を密にし課題の共有を図る。 ・課題に対する改善策を具体的に検討し実行する。	市民の理解と納得が得られる事務処理の改善件数を増加させ、市民の満足度を上げる。	定期的に班内で発生した情報課題を共有し、改善策を検討、実施する。次の検討時において実施状況の報告及び検証を行う。	情報共有を図ることで住民サービスの向上に繋がった。事務課題に対する改善策を実行したことで、今年度大きなミスはなかった。
観光客数や都市農村交流人口を増加させる。	・美川農林漁業体験実習館及び関連施設の整備 ・美川大水車及び関連施設の活用方針についての検討 ・小さな集落が取り組む地域の活性化事業の支援	地域の観光交流資源の有効活用や地域の人たちが交流を通じた地域づくりを行うことで交流人口が増加する。	美川農林漁業体験実習館や関連する施設の機能を充実させる。・地域おこし協力隊員及び集落支援員と協働した、観光振興、集落支援事業を行う。	実習館全客室のテレビ更新やWifi設備を整備し、施設環境の充実を図った。集落支援員の地域団体支援により、団体行事が円滑に実施できた。地域おこし活動も観光案内板の更新を図るなど観光振興に繋がった。
公共交通の利用促進や利便性向上を図る。	公共交通に関する利用促進の推進	生活交通バス等の利用者数の増加	生活交通バスの実証運行等を実施し、運行経路やダイヤの見直し、デマンド化の検討を行い利用を促進する。	実証運行は未実施となったが、町内全世帯を対象にアンケート調査を行い、利用実態や意見を把握することで、令和6年度のデマンド運行に向けた計画を作成することができた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

市民が住み続けたいと思える「暮らし易いまちづくり」を推進するため、常に市民目線で業務に取り組み、地域の課題を市民と協力し解決策を導き出します。

美和総合支所 設定者 地域振興課長 宮本 宜明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
誰もが住み続けたいと思える地域づくりを推進するため、地域コミュニティの維持に努める。	集落支援事業	夢プランを作成している地域に対して地域コミュニティ活動の支援を行う。	①集落支援員を中心に夢プランに基づく活動をしている長谷、下畑地区の活動支援を行う。(随時) ②やまぐち元気生活圏活力創出事業を活用し、新たな活動を推進する。(6月)	・集落支援員を中心に地域の夢プランに基づく地域活動の支援を行った。下畑地区では、やまぐち元気生活圏活力創出事業を活用し、特産品のPR事業用資材を整備し、様々なイベントを開催・支援した。 ・また、地域ニーズを把握するために「集落支援員に関するアンケート調査」を実施し、新たな支援地域の選定等についても検討を行った。
公益的な組織(自治会、ふるさとづくり推進協議会等)との協働により地域の諸問題を解決する。	市民協働による移住定住促進事業	移住応援団と協働し、空き家を利用した移住定住の促進を図る。	①ふるさとづくり推進協議会や自治会連合会総会等で空き家情報登録制度を説明し意識の高揚を図る。(5月) ②移住応援団と協働し、空き家情報の情報収集と調査を進める。	年度当初にふるさとづくり推進協議会や自治会連合会役員会で本制度の必要性や制度の説明を行った。また、新たな試みとして、美和地域だけの「移住応援団意見交換会」を1月に開催し、意識の醸成を図った。その結果、空き家登録1件(3件登録準備中)、成約3件、9人の移住者を迎えることができた。
生活交通バス運行の適正化を図る。	生活交通バス運行適正化事業	生活交通バスの路線再編(案)を作成する。	①自治会連合会役員会でバス路線再編の必要性を説明する。 ②住民アンケート調査を行う(6月) ③路線再編案を作成する。 ④自治会連合会役員会で路線再編案を諮る。(3月)	利便性を維持しながら効率化を図り、持続可能な運行とするためにバス路線再編の検討を行った。自治会連合会役員会で、再編の必要性やスケジュールについて説明したうえ、住民ニーズの把握を行うため、全戸を対象としたアンケート調査や職員による乗降調査を実施し、路線再編(案)の作成を行った。再編(案)については3月23日の自治会連合会役員会で承認を得ることができた。
地域の防災意識の高揚を図り、災害時に迅速に対応できるようにする。	市民協働による自主防災事業	自治会連合会と協働し、各地域の自主防災組織の再構築を図る。	①自治会連合会で自主防災組織の状況について説明する。(4月) ②自主防災組織の避難計画や緊急連絡網の更新を行う。(上半期) ③自治会連合会と協働し、地域防災講座を開催する(11月)	・自治会連合会役員会で自主防災組織の現状について説明し、避難計画や緊急連絡網の整備についてお願いした。その結果、61自治会中46自治会の緊急連絡網についてデータ化を行うことができた。 ・自治会連合会と共同開催する予定としていた「地域防災研修会」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。
弥栄湖を中心とした観光拠点の充実により交流人口の拡大を図る。	観光拠点地域の活性化事業	弥栄湖周辺観光施設の充実と運営支援を行う。	①観光プランナーとして地域おこし協力隊員を募集する(4月) ②地域おこし協力隊員を中心に観光拠点施設の運営支援や施設のリニューアル計画を立てる。	・美和地域の観光拠点である「レイクプラザやさか」に魅力化コーディネーターとして「地域おこし協力隊員」募集を行ったが、応募者が現れず、年度内の着任には至らなかった。(R5. 4月着任予定) ・しかしながら、観光拠点施設の運営支援や計画的な長寿命化を行うとともに「レイクプラザやさか」の施設リニューアル設計を完了することができた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

市民が住み続けたいと思える「暮らし易いまちづくり」を推進するため、常に市民目線で業務に取り組み、地域の課題を市民と協力し解決策を導き出します。

市民福祉課 設定者 市民福祉課長 佐伯 重樹

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
常に市民の目線で(市民の立場で)、思いやりと笑顔の対応を心掛け、市民に満足される接遇と業務を遂行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇力の向上。</li> <li>・課内で派生した情報・課題を班を超えて共有し、業務の改善策を検討する。</li> <li>・職員の意識改革と資質・能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇力の向上により市民に信頼される。</li> <li>・業務改善により、効率的効果的に業務を推進する。</li> <li>・職員の資質・能力向上により市民が満足度を実感できる行政サービスが提供できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①窓口での来客者への挨拶と声掛けの実施徹底。</li> <li>②各種マニュアルの整備。</li> <li>③接遇・業務改善について問題点等の確認、検証、改善策の検討。</li> <li>④改善策の実施。</li> </ul>	<p>接遇改善については、朝礼時に職員相互で定期的に注意喚起をおこなった。</p> <p>また、個別面談時に実施状況を確認し、各問題点等を課員全員が共有、検証し、接遇改善に努めた。</p>
高齢・障害等で生活に困っている人に、適切な福祉手続きを、速やかにとることができる。	<p>民生委員、地域包括、保健師、ケアマネ等との密接な連携。</p>	<p>高齢・障害等で生活に困っている人の情報を、適時収集し、速やかに対応する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①収集した情報を共有する。(データで共有する)</li> <li>②情報を整理し、改善策を関係者と相談・検討する。</li> <li>③改善策の実施。</li> </ul>	<p>各担当者の個別の福祉業務の問題点を共有するため、共有ファイルメモなどを利用し問題の情報の共有化と問題の解決を図った。</p>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

市民が住み続けたいと思える「暮らし易いまちづくり」を推進するため、常に市民目線で業務に取り組み、地域の課題を市民と協力し解決策を導き出します。

美和総合支所 設定者 農林建設課長 高辻 英明

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
農林業の経営支援と育成	農業の将来を担う経営体や担い手を育成するとともに、魅力的でやりがいのある産業とするため農業経営支援や農業環境の向上を図り、生産性の向上に向けた支援。	中心経営体に集積・集約化を推進する。	①営農法人の経営安定に向けた取り組み(集落営農法人等パートナーシップ協議会)【通年】 ②認定農業者の継続更新【10月】	①協議会で実証試験中の自動給水栓及び、いもち病に強く収量性のある飼料用米「西海316号」について研修を行った。 ②美和地域3、本郷地域1農事組合法人の継続更新を行った。
生活道路の安全性の確保	地域内交通の安全性・快適性の向上を図るため、身近な生活道の整備・改修を計画的に進める。	生活道路の安全性と利便性を確保するため、道路の危険箇所等、早期発見、早期整備の実施。	①日常のパトロール、点検の強化により異常箇所の早期発見、早期整備の取り組み【通年】 ②市民からの要望、苦情に対し速やかに対応する【随時】	①パトロール、点検等の強化により危険箇所の早期発見、早期整備に努めた。 ②市民からの要望・苦情については迅速な対応に努めた。
所管施設の適正管理	安心・安全で次世代に負担をかけない最適な公共施設を目指すため、施設保有量の最適化、市民ニーズに対応した施設の活用、計画的保全と健全な管理運営の取り組みを進める。	「公共施設管理者のための施設点検(自主点検)の手引き」に基づき、5月下旬までに全施設の点検を実施。	①年1回の定期点検【5月】 ②月1回程度の日常点検 ③災害時の緊急点検	①②③所管施設の定期点検及び日常点検の実施により危険箇所の早期発見に努め、対応することができた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

美和総合支所

美和総合支所の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 美和総合支所長 藤野 修二

市民が住み続けたいと思える「暮らし易いまちづくり」を推進するため、常に市民目線で業務に取り組み、地域の課題を市民と協力し解決策を導き出します。

美和総合支所 設定者 本郷支所 市民福祉班長 山本 智久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
住民の理解と納得につながる組織としての対応力を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支所内の連携協力体制の充実</li> <li>地域住民との協働の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支所職員全員が支所内の業務を把握し、速やかに対応する。</li> <li>支所職員と地域住民の協働により関係事業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支所内の2班(地域振興班、市民福祉班)が連携し、業務の効率化に向けて取り組む。</li> <li>地域の諸行事や地域住民に関する事業について、各種団体及び地域住民との協働による企画運営を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支所内2班が連携(庁舎管理の一部を市民福祉班で実施するなど)し、業務の効率化をした。</li> <li>予定されていた地域行事は中止となったが、自治会連合会・ささえ愛協議会と連携協力した。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

教育政策課 設定者 課長 仁田 誠彦

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
安心・安全に教育が受けられる環境整備	岩国市学校施設長寿命化計画に沿った学校施設整備事業	より良い教育環境の確保、効率的・効果的な老朽施設の再生によるトータルコストの縮減、予算の平準化などを旨す。	学校規模・配置の適正化との整合性を図りながら、学校施設の更新を行う。	令和5年度からの工事に向け、令和4年度は老朽化している灘小学校の屋内運動場改築事業、大規模なトイレ改修事業(4校)及び特別教室の空調設備整備事業(3校)の設計業務を行った。
岩国市全体が英語の学び・学び直しや国際交流の機会が充実した「英語交流のまち」を実現し、地域活力の向上を目指す。	英語交流のまちIwakuni推進事業	英語の学び・学び直しや国際交流の機会が充実した「英語交流のまち」を実現することで、「住みたい」、「住み続けたい」、「子育てをしたい」、「教育環境に優れた」まちとして、地域の活力の向上を図る。	英語交流のまちIwakuni創生プロジェクト基本方針に基づき、英語交流や国際交流事業の交流拠点となる英語交流センター(Plat ABC)の運営を行う。	英語の学びや学び直し、国際交流を図る拠点施設として、令和4年3月に英語交流センター『Plat ABC』を開設した。多くの市民が来館し、各種イベント等を通じて、生きた英語に触れることにより、英語への興味や関心を深める機会を充実させた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

学校教育課 設定者 学校教育課長 林 隆之

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
子供たちが行きたいと思える教育環境づくり	学校環境向上支援事業	子供たちが、安全に安心して教育を受けことができ、安全に通学できる環境づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館の児童生徒用図書や授業で使用する教育備品の充実を図る。</li> <li>・通学距離が長くて困っている児童生徒に対して、スクールバス・スクールタクシーの運行や、遠距離通学費補助金により、通学手段を確保するとともに、通学路の安全の確保を図る。</li> <li>・就学援助費により財政的負担の多い保護者を支える。</li> <li>・各種健康診断を実施し、健康の維持増進を図り、災害共済給付制度により不慮の事故等に備える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校に経費配分を行うことにより、優先的に必要な備品等の購入ができた。</li> <li>・通学距離が長い児童生徒に対し、スクールバス・スクールタクシーの規定路線を確保するとともに、必要な通学路照明の設置、道路管理者への通学路の危険箇所整備への情報提供を行った。</li> <li>・就学援助費・就学奨励費等の申請への周知を行い、保護者の経済的な負担軽減に結びつけることができた。</li> <li>・児童生徒に健康診断を実施するとともに、申請に基づき災害共済給付の支給を遅滞なく行った。</li> </ul>
安心安全で栄養バランスのとれた学校給食を提供するとともに、地場産の食材を活用し子供たちにおいしく給食を食べてもらうための取り組みを行う。	学校給食・食育の推進	安心安全で栄養バランスのとれた学校給食を提供することで、子供たちが健やかに成長し、望ましい食習慣を身に付け、食を楽しむ「豊かな心」と食を通して「生き抜く力」を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長期にある子供の心身の発達と健康の保持増進を図るため、適切な栄養量の確保と栄養バランスのとれた安心安全な学校給食を提供する。</li> <li>・食の正しい知識を習得し、望ましい食習慣を養うため、給食献立表や食育だよりにより啓発を行う。</li> <li>・食に携わる人々への感謝と理解を深めるため、地場産食材を活用することや、地域の生産者や食材納入業者と連携を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各調理場の献立内容及び栄養状況の確認により、安心安全で栄養バランスのとれた適切な学校給食の提供を行った。</li> <li>・献立表、食育だよりを通して、食の正しい知識の習得、食に対する関心を深めてもらい、給食を楽しんで、残さず食べてもらうように努めた。</li> <li>・地場産食材を積極的に活用するため、地域の生産者や食材納入業者と納入調整を行い、地元食材の納入確保に努めた。</li> </ul>
子供たちの健やかな成長を図るため、幼少期から小中学校9年間を見通すことで一貫した教育の推進を図る。	小中一貫教育の推進	義務教育9年間を通して、系統的・継続的な学習指導及び、生徒指導を行うことで、確かな学力、健やかな体、豊かな心の育成を図る。小中ギャップや10歳の壁など、学校種の違いや発達段階で生じる子供たちの不安や負担を軽減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度に作成した「学校・地域連携カリキュラム」を基に、各学校の特色ある取り組みを推進していく。</li> <li>・小中一貫教育を推進するため、各学校の小中一貫教育担当者を対象とした合同研修会を開催し、教員の人材育成を行うことで授業改善を図りながら、子供たちの確かな学力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校区で目指す子供像を共有し、ヒト、モノ、コト等の教育資源を活用して、特色ある教育活動を推進した。</li> <li>・合同研修会を2回開催。指導者の指導助言のもと、各中学校区の課題等について、協議、検討を行い、授業改善に取り組むことができた。</li> </ul>

ICTを活用した学習活動の一層の充実	ICTを活用した教育の推進	ICTを活用し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の情報活用能力を育成するため、児童生徒に身に付けさせたい力を明確にした体系的な指導を継続して行う。</li> <li>・AIDリルや授業支援ソフトを活用し、個別最適な学び、共同的な学びの一層の充実に努める。</li> <li>・教職員のICT活用技能向上に向けた研修を実施し、授業での効果的な活用や業務の効率化を今後も継続的に促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報活用能力の体系表を作成・共有することで、ICT活用に関して一貫性のある指導ができた。</li> <li>・ソフトの導入や設定管理、好事例の共有等により、授業での端末活用を進めることができた。</li> <li>・ICT活用に関する研修講座を開催し、授業での効果的な活用方法や業務改善の方法を提案することで、教職員のICT活用スキルを全体的に向上させることができた。</li> </ul>
--------------------	---------------	---	---	---

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

青少年課 設定者 課長 倉本 敦

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
青少年の健全育成と生徒指導上の諸課題に対する支援の充実を図る。	①関係機関との情報を共有する協議会の定期的な開催 ②校内ケース会議への積極的な参加	①各協議会において、目標と情報を共有する時間を確保する。「愛の声かけ2000人」 ②校長会及び生徒指導主任会において、適切な情報の提供を行う。「学校訪問600回」	①補導員研修会の実施(年3回) ②校長会での所管説明(年3回) ③生徒指導主任への指示と情報共有(毎月) ④相談内容の蓄積と活用	①「愛の声かけ2000人」は達成できなかったが、年3回の研修会を実施し、情報共有と資質の向上に努めた。 ②年3回の校長会において、生徒指導の課題への対策について共通理解を行った。また、毎月の主任会において、主任の資質向上と情報共有に努めるとともに、学校訪問を年間600回以上行った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

教育センター 設定者 教育センター所長 倉本 敦

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
学校訪問や研修を通して、学校における教育相談担当を中心とした教育相談体制の充実を図る。	①教育相談担当を対象とした研修会の充実 ②指導主事による学校訪問を実施することで、各校の実態に応じた支援の充実	①全ての教育相談担当を対象とした研修会を年2回実施する。 ②指導主事による学校及び関係機関への訪問を年間500回以上行う。	①教育相談担当研修会の実施(6月・2月) ②校内ケース会議等への指導主事の参加	①年2回の研修を実施するとともに、ヤングケアラーや起立性調節障害等、今日的な課題に対しても研修を行った。 ②目標であった、学校や関係機関への訪問を500回以上行うことができた。
教育支援教室における「eラーニング教材」を活用した一人学びの充実を図る。	①各支援教室において、「eラーニング教材」の活用時間の設定 ②「eラーニング教材」の活用状況の把握と評	①年度当初に各支援教室における「eラーニング活用計画」を把握する。 ②「eラーニング教材」の活用状況を月ごとに把握し改善に生かす。	①各支援教室への訪問による活用状況の把握 ②ICT環境の整備充実	①活用状況について、通室生及び指導員から聞き取りを行うとともに、一斉に活用する時間を定めた。 ②より多くの児童生徒が活用できるように配慮した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

科学センター 設定者 館長 弘中 勝

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
科学への興味を育む環境づくり	幅広い世代の市民を対象に、科学に関する学びの機会を提供する。	科学に関するイベント等に多くの市民が参加することによって科学に対する理解を深める。	・特別科学講演会や展覧会などの実施。 ・科学振興展覧会や科学振興研究発表会などの実施。	・「防災科学の最前線」と題した市民向け科学講演会を開催した。 ・科学振興展覧会を開催し、小中学校合わせて404件の応募があった。
児童・生徒が、学校の授業では体験できない実験や学びの機会を提供する。	科学の面白さや自然学習の場など、子供たちが実際に体験できる機会を提供する。	科学振興展覧会や科学工作作品展へ、多くの子供たちが出品することで、子供たちの科学に対する興味を高める。	・科学教室や科学クラブの活動に加えて、科学の祭典や科学セミナーなどの開催。 ・科学振興展覧会や科学振興研究発表会などの開催。	・科学教室を39回開催したほか、青少年のための科学の祭典を2回開催し、科学セミナーも2回開催した。 ・マイクロ生物館では、科学講座、出前授業等の体験学習を128回開催し、2,191名の利用があった。
新科学センター建設事業の検討	新科学センターの基本方針や施設全体のコンセプト・科学センター整備検討委員会での意見などを基に細部の検討を進める。	小中学校との連携を強めるとともに、子供たちが何度でも訪れたいくなる施設となるよう、建築設計に反映させるほか、運営体制についても検討する。	・科学センター整備検討委員会を開催し、意見集約する。 ・黒磯地区いこいと学びの交流テラス定例会議で関係部署との連携を図る。 ・東芝(株)やJAXA、国立科学博物館などとの連携を強化する。	・科学センター整備検討委員会で、展示施設や運営体制について意見集約した。 ・JAXA、国立科学博物館などを訪問し、連携体制の協議を行った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

生涯学習課 設定者 生涯学習課長 岸井 清市

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生涯学習講座等の参加者と講師を増加させる。	新型コロナウイルス感染症に対する対策を充分に行った上での講座開催。 生涯学習講座の充実と講師の発掘	・新規受講者、リピーター、受講件数が増加する。 ・講師登録者が増加する	・市民大学講座の充実 ・市民活動団体の講師の掘り起こし ・市内企業の社会貢献による講師の掘り起こし ・イカルスの新たな利用者の開拓	県立大学から講師を招聘して新たに2講座（受講者102人）を実施した。
	学校・家庭・地域の協働による生涯学習講座の充実	新規受講者、リピーター、受講件数が増加する。	・子育て学習会(小学校)の継続実施 ・家庭教育学習講座(中学校)の継続実施 ・地域連携教育活動の継続実施 ・各講座において地域協育ネットの仕組みの活用を検討する。 ・放課後児童教室との連携	昨年度は新型コロナウイルス感染症のために中止した学習会（2校、123人）を今年度において実施した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

生涯学習課(中央公民館) 設定者 生涯学習課長 岸井 清市

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
中央公民館講座等の充実	地域、学校等と連携した公民館事業の推進	地域、学校等と連携した講座が増加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、地域と連携した講座の実施（夏休みや参観日の利用の工夫）</li> <li>・放課後児童教室と連携した講座の実施</li> <li>・他課と連携した講座の実施</li> <li>・企業、団体と連携した講座の実施</li> <li>・他の公民館と連携した講座の実施</li> <li>・夏休みの子供の居場所や体験活動を意識した講座の実施</li> <li>・子供と高齢者など異年齢の交流を意識した講座の実施</li> <li>・国際交流を意識した講座の実施</li> <li>・中学生の応援を募るなどの工夫をする</li> <li>・公民館における人権教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LGBTの当事者である講師による家庭教育講座（受講者47人）を実施するなど新たな内容の講座を実施した。</li> <li>・夏休み期間中に工作教室などの講座（44講座、受講者845人）を実施した。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさとしき抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

文化財保護課 設定者 文化財保護課長 若林 久夫

課の使命又は目指す姿	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シロヘビ保護管理事業</li> <li>・民俗芸能まつり開催事業</li> <li>・文化財施設等の維持業務</li> <li>・旧日加田家住宅整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国天然記念物「岩国のシロヘビ」の保護のため、飼育環境の維持を行う。</li> <li>・民俗芸能の保存と伝承及び周知を行う場を提供する。</li> <li>・市内文化財の維持を図る為の環境を整える。</li> <li>・旧日加田家住宅の計画的な保全と、積極的な活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シロヘビ飼育場の維持を行う。</li> <li>・民俗芸能まつりの実施。</li> <li>・市内文化財保管・保護の環境を維持及び改善を図る。</li> <li>・旧日加田家住宅保存活用計画策定委員会を軸に、保存策定計画を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内7か所の飼育施設の恒常的維持を行い、900頭前後のシロヘビを飼育</li> <li>・民俗芸能まつりを8月28日に市民文化会館で実施(11団体参加)</li> <li>・文化財保護環境向上のための防災(火災)訓練を地域住民とともに実施</li> <li>・重要文化財旧日加田家住宅保存活用計画の策定</li> </ul>
文化財に関する各種の情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財等の調査資料の収集</li> <li>・シロヘビ保護管理業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の文化財を多くの人に知ってもらう。</li> <li>・国天然記念物「岩国のシロヘビ」を守り伝える意識を、子供たちに伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財HPを新設する。</li> <li>・子ども飼育員などの行事を実施</li> <li>・小学校でシロヘビの学習会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩国の文化財HPを新設し、広く情報提供・紹介の機能を構築</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら「シロヘビ子ども飼育員」、「夏休みシロヘビ親子教室」、「岩国のシロヘビ指定50周年記念講演会」等の行事を実施</li> </ul>
価値付けができない文化財や歴史的資料等の調査・研究を行う。	文化財保護業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の調査や研究を行い、価値付けするため取りまとめを行う。</li> <li>・価値のある文化財のほりおこしのための調査・研究を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財審議会の開催</li> <li>・埋蔵文化財の確認調査を行う。</li> <li>・未指定文化財の調査を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財審議会を3月に開催し、新たな市の指定文化財として2件を指定</li> <li>・3か所(岩国1丁目、阿品、玖珂本陣代官所跡)で調査を実施</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

岩国徴古館 設定者 館長 若林 久夫

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
学芸員の専門性を活かした事業の実施による博物館の利用率の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育普及関係事業の実施による利用促進</li> <li>調査研究と成果の活用による利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な展示を実施することで、より幅広い世代の入館を図る。</li> <li>各種講座の開催により、郷土の歴史への関心を高める。</li> <li>研究成果を発信し、研究を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展の実施(年6回)</li> <li>常設展示の活用(年3回以上の展示替え)</li> <li>郷土史研究会の開催(月1回)</li> <li>古文書講座の開催(月2回)</li> <li>書籍等の発行(年1種以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展を年間6回実施した。</li> <li>郷土史研究会(12回、438人参加)、古文書講座(2種各12回、486人参加)を実施した。</li> <li>岩国徴古館調査報告書第3号を刊行した。</li> <li>岩邑怪談録を再刊行した。</li> </ul>
博学連携の強化	博学連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と博物館が相互理解・連携し、博物館の利用によって子供たちの地域への関心や郷土を愛する心を育むとともに、博物館等の施設や所蔵資料の周知・利用によって博物館の活性化を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学芸員による出前授業、体験講座等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学芸員による出前授業等を40件実施した。</li> </ul>
博物館整備事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩国市博物館基本計画に基づき博物館の整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩国市博物館整備検討委員会及びPT会議等を開催し、意見の整理、集約を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩国市博物館基本設計の実施</li> <li>岩国徴古館耐震設計の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩国市博物館整備検討委員会及びPT会議等を開催して課題の整理を行いながら、岩国市博物館基本設計を実施した。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

中央図書館 設定者 中央図書館長 山本 圭子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
図書館施設の整備と充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館施設の維持管理業務</li> <li>資料の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7図書館1分室の快適なサービス環境の整備を行う。</li> <li>利用者の要望や、多種多様な資料の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各館職員との定期的な情報交換・点検を実施し、早急な施設の修繕に努める(通年)</li> <li>適正な選書、選書会議の実施(通年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央図書館防火設備改修工事、周東図書館書庫雨漏屋上防水維持工事など実施し、安心・安全で、快適な利用環境の維持に努めた。</li> <li>選書会議は11回開催し、全館において情報共有と問題解決に努めた。</li> <li>電子図書館では、郷土岩国に関する独自資料を新たに追加し18点となった。</li> </ul>
市民の読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実した講座・行事の実施</li> <li>関係機関等との連携</li> <li>市内小学生の図書館見学の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民と本を結ぶための行事や講演会、おはなし会等の開催</li> <li>学校図書館部会等への参加、学校司書との情報共有を図る。</li> <li>市内小学生の図書館見学の積極的な引受け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会(一般)の実施(通年)</li> <li>古典文学講座の実施(全5回)</li> <li>おはなし会の実施(通年)</li> <li>ブックスタート、その他講座の開催(通年)</li> <li>市内小学校への図書館見学の依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典文学講座を始め、講演会やおはなし会等も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、参加人数を制限して239回(2,590人)開催した。昨年度220回(2,500人)と比較し、実施回数は約9%の増、参加人数は約4%の増となった。</li> <li>図書館見学は、13回(347人)で、昨年度の19回(409人)からは、予定の取下げもあり回数約32%の減、参加人数約15%の減となった。</li> </ul>
地域の学習・文化・情報の拠点としての図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館利用者の登録率と一人当たりの利用冊数の増加</li> <li>電子図書館の利用・促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録率を43%とし、電子図書館来館者数を平均1,500人/月とする。</li> <li>電子図書館のわかりやすい利用方法の周知に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館施設利用者、図書館事業参加者へ登録・利用の促進。</li> <li>図書館ホームページ他への掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内在住登録者は49,643人(昨年度の51,522人)で、登録率は38.9%(昨年度39.9%)となり、昨年度より1%減となった。</li> <li>電子図書館利用促進のため、今年度新たに「電子図書館だより(不定期)」を4回発行し、図書館行事や講座室等の利用者に配布するなどして、新規登録者の増加を目指した。</li> <li>スマートフォンが図書利用券として使用できることとなったお知らせや、図書館開催行事等の案内を、図書館ホームページに掲載した。</li> <li>電子図書館利用者が図書の検索を容易に行えるように、電子図書館ホームページに分かりやすいバナーを追加した。</li> <li>電子図書館を学校の授業や朝読書等に活用してもらうため、希望小学校2校にID等を期間限定で一括発行した。この間、来館者数が月2,000人を超えたが、年間においては、17,012人、月平均1,418人とどまった。</li> </ul>

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

教育委員会由宇支所 設定者 支所長 藤中 公子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生涯学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人、子ども講座の開催</li> <li>・三世代交流講座の開催</li> <li>・歴史民俗資料館特別展の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習講座の参加者増員に努める。</li> <li>・歴史民俗資料館の入館者の増員に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに応える講座を開催するため、講師の発掘や由宇地域ネット等と連携する。</li> <li>・三世代交流の場の提供や子どもの居場所の確保に努める。</li> </ul>	生涯学習講座YOUモア大学は、9回開催し、音楽、落語は、大変、好評であった。子ども講座は、8回開催し、けん玉教室、凧揚げは、定員を超える申込があり、好評である。歴史民俗資料館では、由宇歴史アラカルトの特別展を開催、化石発掘講座は、人気で定番講座となる。文化の伝承や三世代交流、地域住民との交流を深める講座となっている。
教育施設の設備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、生涯学習施設、歴史民俗資料館、文化スポーツセンター施設の適正管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の現地点検を1年に1回以上行う。</li> <li>・計画的に修繕管理を行い安全な環境を整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の自主点検チェックシートを活用し、状況の把握に努め、長寿命化の計画的な推進をする。</li> </ul>	年次的修繕計画である学校施設の防音サッシの鍵、文化会館の雨漏り、由宇文化スポーツセンターの空調設備等の施設の安全維持管理の整備を実施した。日常的に適切な維持管理を行い、初期対応行い、修繕費の削減に努めている。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

教育委員会 設定者 周東支所長 加藤 勝巳

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
学校、地域と連携した取り組みにより、事業の充実を図る。	魅力ある内容の講座、イベントの開催	・学校、地域の声が反映されている。 ・学校、地域に必要な事業が行われる。	学校や地域住民が参加する会議を利用したり、個別の面談によりニーズを確認する。	講演会においては、生徒に響く内容を、学校と協議を重ね、充実を図った。地域連携協育ネット等を通じ学校、地域の声を業務に繋げた。
老朽化が進んでいる教育施設の更新・改修をしてほしい。	施設の適切な管理	各種施設において、状況が把握され、老朽箇所が計画的に管理、修繕されている。	施設管理者と綿密に情報交換を行い、現地踏査により状況を把握する。	教育環境整備のため、シート、電話連絡、現地踏査により迅速に対応した。優先順位を協議し適切に回収を行った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

教育委員会 錦支所 設定者 支所長 下村 豊

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
生涯学習活動、スポーツ活動を充実させる。	生涯学習講座、スポーツイベントの開催	市主催、共催による生涯学習活動、スポーツ活動の実施回数・参加者数が増加する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習団体、地域スポーツクラブ、学校等の教育関係団体と連携しイベントを実施する。</li> <li>講師等の人材の確保・育成に努め講座プログラムを充実させる。</li> </ul>	今年度の市主催、共催による生涯学習活動、スポーツ活動事業は、昨年度実績を大幅に超える56件、参加者1,838人(昨年度50件、1,529人)となった。
学校施設、生涯学習施設を整備・充実させる。	学校施設、生涯学習施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設、生涯学習施設を安心・安全に利用できる。</li> <li>施設利用者が増加し、生涯学習活動・スポーツ活動が盛んになる。</li> </ul>	施設の安全性・利便性に配慮し、学校関係者、地域住民、施設管理者等と連携して施設を整備する。	生涯学習拠点施設「錦ふるさとセンター」の水道施設修繕、民俗芸能拠点施設「沼田ふれあい神楽交流館」の施設改良を行うなど安心・安全に施設利用できるよう整備した。「錦ふるさとセンター」の今年度利用者見込は8,600人となり(昨年度実績5,612人)大幅な増加となった。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

教育委員会

教育委員会の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 教育次長 丸川 浩

心の豊かさや生き抜く力を育むため、人と人とのつながりを深めるための取り組みを進めます。

教育委員会 設定者 美和支所長 亀弘 典久

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
地域の教育資源を活用した教育の支援	所管施設の今後の活用方針を検討協議	所管施設の利活用状況、維持管理の経費等により、今後の利用方向性を定める。	所管する全ての施設を有効活用し利用できる施設の中から、優先度を設けて取り組む。	施設の老朽化により、大規模修繕(文化会館、施設照明のLED化)などの計画策定に取り組んだ。武道館のLED化の目安はついたが、文化会館の大規模改修については、一定の予算はついたが課題の残るものとなった。
今後も継続可能な生涯学習活動を推進する。	楽しく参加できる生涯学習と新規生涯学習の企画運営	他団体(高齢者、小学校など)と共同実施する新しい企画の実施と生涯学習への参加者の増	参加者の要望を取り入れ、参加者が興味のある生涯学習を実施する。	生涯学習講座に新たな企画として、初心者スマホ教室や・秋の庭木の剪定教室・ドローンを使った体験学習等を企画実施したことで、新しく参加者も増加した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

出納室

出納室の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 出納室長 村上さゆり

市民の財産である公金を出納保管する組織として、適正かつ効率的な会計事務を執行します。

出納室 設定者 出納室長 村上 さゆり

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
公金の適正な出納及び保管に努めるとともに、更なる効率化に努める。	口座振替(支出)データの伝送化	令和4年度中に口座振替(支出)データの伝送化を完了する。	これまでは口座振替(支出)に必要なデータの授受はフロッピーディスクにより行ってきたが、インターネット回線によるデータ送信(=伝送)に切り替える。	口座振替(支出)データの伝送化を完了し、フロッピーディスクの使用を終了した。
支出帳票等の適正な審査事務を実施するとともに、更なる効率化に努める。	正確かつ迅速な審査事務の実行	支払希望日に円滑に支払いが行えるよう、締切日までに的確で公正な審査を行う。	班内で協議また情報を共有し、迅速に課題解決を行う。出納班と連絡を密に取り合い、期限内に審査事務を行う。	班内で協議また情報を共有し、締切日までに的確で公正な審査を行った。
	差し戻し件数の削減	各課会計事務担当者の事務処理能力を高め、差し戻し件数の削減を図る。	会計事務資料を作成、公開する。口座払い締切日や会計事務留意点について情報提供を行う。	会計事務研修をオンデマンドで配信し資料を公開した。また審査における気づきをとりまとめ、掲示板で周知した。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

議会事務局

議会事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 議会事務局長 鈴木 芳智

議員が議会活動及び議員活動が適切に出来るよう、十分な知識と行動力を持った組織づくりを進めよう。  
住民の関心を議会活動に引きつけるための高度な発信力を持ち、その機能を有効に発揮できる仕組みを持った組織づくりを進めます

議会事務局議事課 設定者 議事課長 林 孝造

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
議員活動、議員活動に生かせる情報収集や、担当課及び局内での情報共有	正確な情報提供ができるよう情報収集、情報共有	議会活動が適切に行えるような環境	市議会の適切な運営のための環境整備や議員活動のための資料収集及び整備	本会議及び委員会等において、議長及び委員長並びに議員の意見を反映するよう次第書等を精査し、確実な運営に努めた。また、審議に必要な情報収集、資料整備を正確に行った。
市民の参画意欲が高まるよう、市議会に対して関心を持ってもらうための情報を発信	市民に議会活動、議員活動の内容、必要性、重要性を理解してもらえる詳細かつ正確な情報公開	議会の議案の審査及び運営についての情報を周知する。	ホームページに、市議会会議録等の記録を掲載	・会議録等を精査して作成し、公開することにより、正確な情報提供を行った。 ・一般質問の内容を視覚的に伝えるため、質問議員が準備した写真や図などを議場のモニターやケーブルテレビで放映するようにした。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

議会事務局

議会事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 議会事務局長 鈴木 芳智

議員が議会活動及び議員活動が適切に出来るよう、十分な知識と行動力を持った組織づくりを進めます。住民の関心を議会活動に引きつけるための高度な発信力を持ち、その機能を有効に発揮できる仕組みを持った組織づくりを進めます。

議会事務局庶務課 設定者 庶務課長 岡田 淳

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
議会活動、議員活動に生かせる情報収集、担当課および局内の情報共有	正確な情報提供ができるよう情報収集、情報共有	・議会活動等が適切に行えるように環境整備 ・情報収集や情報共有・協議	・市議会のタブレット導入のための環境整備や議員活動のための資料の整備 ・担当課からの情報収集や、局内の情報共有、綿密な協議	タブレット導入について、議員の理解を得ることができた。
市議会に対しての市民の参画意欲が高まるよう情報を発信	市民に議員活動、議会活動の内容・必要性、重要性を理解してもらえるような情報公開	議会だよりの内容の充実、ホームページへの市議会の活動内容を掲載を行い、市議会の情報を周知	・新しい市議会だよりのづくりを行い、関心を高める。 ・次年度以降の議会だよりの構成等についての協議 ・市議会の活動の様子を幅広くホームページに掲載	議会に対する関心を持ってもらうための紙面づくりについて検討を重ねたが、具体的な構成変更には至らなかった。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

監査委員事務局

監査委員事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 局長 村重 政司

厳正で的確な監査を実施することにより、行財政の適法性及び経済性、効率性、有効性を確保し、市民から信頼される市政運営に寄与します。

監査委員事務局 設定者 監査委員事務局次長 高村 和恵

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
定期監査の実施	定期監査	監査結果が「良好」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査基準に基づき、年間の監査計画にそって定期監査を実施</li> <li>・各部局の指摘事項を前回監査時より減少させるため、監査チェック項目を様々な手段で事前に周知</li> <li>・指摘事項を周知し、改善状況は該当課より文書で回答</li> </ul>	庁内掲示板で年度当初に監査のチェック項目を周知。着眼点が前回と同一ではないため単純比較はできないが、押印見直しによる事務変更等の過渡期でもあり、指摘事項は前回より増加。監査結果については「おおむね良好」
決算審査の実施	決算審査	審査意見が「誤りはない」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査基準に基づき、年間の監査計画にそって決算審査を実施</li> <li>・決算審査にあわせて、健全化指標審査を実施</li> </ul>	担当部署より提出された資料にもとづき、決算審査・健全化指標審査を実施。監査基準に基づき計画的に実施し審査意見は「誤りはない」
監査スキルの向上	研修	監査関連の研修を計画的に実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査スキル向上のため、計画的に外部研修参加</li> <li>・研修受講後においては、受講内容を局内で共有</li> <li>・監査の着眼点や疑問点等は随時局内で研修を行い、共通認識を持つとともに監査知識を習得</li> </ul>	計画的に外部研修へ参加、受講内容の共有。局内での話し合いにおいて、監査の着眼点や疑問点等について共通認識を持った。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

農業委員会事務局

農業委員会事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 農業委員会事務局長 有馬 秀樹

農業の振興と中山間地域の保全のため、地域と行政を結ぶ懸け橋となる農業委員会組織を活用し、多面的機能を有する農地の適正な管理に取り組めます。

農業委員会事務局 設定者 事務局次長 後 詳子

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
遊休農地について、遊休状況を解消する面積を、毎年度増加させる。	農地利用状況調査(農地パトロール)及び農地利用意向調査の実施。	農地の利用状況を調査し、遊休農地については、その利用に関する意向を把握することで、的確な指導・助言を行い、遊休農地の発生防止と解消による遊休農地面積の減少につなげる。	①農地利用状況調査実施準備(5月～6月) ②農地利用最適化推進委員による農地利用状況調査と現地指導の実施(7月～9月) ③調査結果の取りまとめ(10月～11月) ④農地利用意向調査の実施(12月～1月) ⑤調査結果に基づき、遊休農地の減少に向けての関係機関との調整	①必要図面等を準備し6月に説明会を3会場で実施 ②及び③予定通り実施 ④3月に実施 ⑤調査結果や関係法令の改正等を精査し、関係機関と協議を継続
農業委員会総会の開催	農地法に基づく法定許可業務の適正な実施。	総会で農業委員から承認を得られるよう申請書を整え、議案として諮る。	毎月1回実施する。 例) ①4月21日:申請書受付締切 ②4月25日:申請書目合せ ③5月16日:総会	すべての総会を滞りなく実施できた。

令和4年度 課の組織目標を実現するための主な取組

選挙管理委員会事務局

選挙管理委員会事務局の使命又は目指す姿【部の組織目標】 設定者 選挙管理委員会事務局長 藤本 忠夫

公正・正確な選挙の執行を図り、効果的な投票率向上のための啓発活動を行います。

選挙管理委員会事務局 設定者 次長 本田 成彦

課の使命又は目指す姿 【課の組織目標】	課の組織目標を実現するための今年度の主な取組			
	主な取組	主な取組の目指す状況	主な取組の内容	主な取組の達成状況
参議院議員通常選挙の適切な管理執行	法令に基づいた正確かつ迅速な選挙事務の執行	公明かつ適正に選挙を執行することにより、選挙人の信頼を得ることができ、その結果、投票率の向上につながる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール管理の徹底</li> <li>・期日前投票所も含めた投票環境の改善</li> <li>・投開票事務フローの徹底</li> <li>・投開票速報の迅速化</li> <li>・選挙に関する適切な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールに沿った適正な各種事務手続きと事務改善及び適切な情報発信を行うことができた。</li> <li>・岩国駅前に新たに期日前投票所を開設し、より投票しやすい環境とした。</li> </ul>
岩国市議会議員一般選挙の適切な管理執行	法令に基づいた正確かつ迅速な選挙事務の執行	公明かつ適正に選挙を執行することにより、選挙人の信頼を得ることができ、その結果、投票率の向上につながる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール管理の徹底</li> <li>・期日前投票所も含めた投票環境の改善</li> <li>・投開票事務フローの徹底</li> <li>・投開票速報の迅速化</li> <li>・選挙に関する適切な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールに沿った適正な各種事務手続きと事務改善及び適切な情報発信を行うことができた。</li> <li>・啓発ステッカーを作成し、郵便配達車等の側面に貼り付けることで投票日の周知を行った。</li> </ul>
山口県議会議員選挙の適切な管理執行	法令に基づいた正確かつ迅速な選挙事務の執行	公明かつ適正に選挙を執行することにより、選挙人の信頼を得ることができ、その結果、投票率の向上につながる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール管理の徹底</li> <li>・期日前投票所も含めた投票環境の改善</li> <li>・投開票事務フローの徹底</li> <li>・投開票速報の迅速化</li> <li>・選挙に関する適切な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールに沿った適正な各種事務手続きと事務改善及び適切な情報発信を行うことができた。</li> <li>・また、選挙の思い出づくりとして、「投票所来場カード」を作成した。</li> </ul>
・新型コロナウイルス感染症への適切な対応	投票所等における効果的な感染防止対策の実施	コロナ禍においても、選挙人が安心して投票することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策に必要な人員や機材等の確保</li> <li>・保健担当部局や支所等との連携強化</li> <li>・感染防止対策の選挙人への周知</li> <li>・投票所等の混雑状況に関する情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止対策物資を準備の上、対応方法を事務従事者に徹底した。</li> <li>・また、感染防止対策のチラシ等を選挙人へ配布し安全な投票環境を実現した。</li> </ul>
明るい選挙の推進	常時啓発事業や主権者教育の充実	有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、有権者の意思が正しく政治に反映される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発作品の募集、優秀作品の展示</li> <li>・選挙啓発物品の貸出し</li> <li>・選挙出前講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発作品の募集、優秀作品の展示を行い将来の有権者である児童生徒の皆さんに、選挙・政治について関心をもってもらうことができた。</li> <li>・出前講座については、選挙時期と重なったため未実施。</li> </ul>